京城日報

發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號長六千九番　長六千九番二（振替京城三〇〇）

京城日報　所謂思想問題（下）

富士山巓の空氣は、アルプス山頂の空氣と共通し、日本海の潮は、波羅的海の波に連なる以上は、外國思潮の侵入は之が嚮ぐに由なく、なまなか法律を以て之を防遏し、政權の力を以て之を壓伏せんとするが如きは、百害あるも一利あるなし。ビスマークの社會黨鎭壓條例は二十世紀の今日に實行すべくもあらず、尾崎學堂が舌を共和に滑らして、文相の職を拋なければならなかつた樣な時代は、皆過去に屬して居る。今日の時世では、カールマルクスを禮讚せうと、クロポトキンの糟粕に醉うと、己がじしの好みに任せ、社會の秩序を害せざる限りはない。更に一歩を進めて、吾等は凡べての思想上の障碍を排拒すべく、思想上狹隘な……を執るほど、……是れ我が歴史の明證する所で、遠くは革命を含める支那の學説倫理政治を躊躇なく攝受し、又印度の思想を輸入しても、固有國民性に何等の化學的作用を起すことなく、却つて此の外來的のものを他山の石として、我が環境の用に供し、從つて此の思想學説をも次第に日本化せしめる樣にしたのである。……は、健全なる國民の執るべき良手段で、又最も確實なる道である。明治維新の前後に舶來した西洋の民權自由の思想の如きも、……に在つては極めて過激なものであつたに相違ない。所謂民約論を金科玉條と崇め、佛國革命を高調して、慷慨悲憤、激越なる言辭を弄したものであつたが、大多數の國民は聰慮沈思、大體に於て何等の失態がなかつた。……に關する勅語の換發、帝國憲法の制定は、明治天皇の深淵なる聖慮に出たる申すまでもないが、畏けれども一面より見れば、數千年來洗練せられた我が國民性の結晶で、崇高なるものであるといへる。我が國民は、其の包容力の大なると共に、強き咀嚼力と消化力を有し、一部少數者の外は外來の新思想を鵜呑にして……

……症を起す様なことはなかつたのである。

外來の思潮を捉へて、之を最高理想の顯微鏡下に置き、剖析し批判し、其取捨選擇を決するは、文明國民としての心掛けでなければならぬ。更に之を固有の國民性の鎔爐に容れ、不純なる混合物を除去し、洗煉を加へ、冶鑄を施し、或は資益し、或は之れが利用を誤ることなきは、一段高き國民性格を現する……ものである。此の識別と應用との力の消長に因つて其の國の興廢盛衰を來すものである。若夫れ外來の思潮に溺沒せられ、國民の思想が轉々變化し、或は常に動搖不安の裡に在るが如きは、たとひ其國の形骸が存するも、國民精神は死滅したものといはなければならぬ。こゝが一番大切なことで、國民一般が強き自信自尊の地に立つは勿論、先覺有識の士は常に後進を訓練して、此の境地に進ましめる事を怠つてはならぬ。

吾等は所謂思想問題に對して、必ずしも樂觀的見地に居るものではないが、古語に『明鏡臺に在り、胡來れば胡現じ、漢來れば漢現ず』といふことがある。……來去が明鏡其ものに……を與へない。我同胞國民の鏡が明煌々として塵を留めない限りは、如何なる魔道妖説が侵入して來るも、何等異變あるべきでない。是れ吾等が固く信ずる所であるが、唯吾等が特に一言を加へて置きたいことは、いふ所の國民性の維持向上といふとは、……國の中堅階級を中堅とし、六名數の國民を精神的に統一しなければならぬ。特に現在世界の風潮が、資本階級と勞働階級との間に激烈なる闘爭を起しつゝある場合に在つては、我特有の美……を發揮するには、殊に此方面に力を注ぐの必要を認むるものである。此に就ては猶いふべきこと多いが、それは異日題を改めて論述することに爲る。

對希貸附を撤回

聯合國側の腹癒せ

一般投票の結果は大多數にて廢王コンスタンチンの復位を見んとする事前記の如くなるが聯合國の希臘に送れる通牒は人民投票を行はる、前日政府に手交されしを以て時機おそきに過ぎ之を全國に周知せしむる能はざりきと右につき聯合國は希臘に對する最近の貸附四億ドラクマを撤回せり（雅典六日發電）

……利公使に任命さるゝに決定せり（東京發電）

ハーヂング氏の使節

瑞西ゼネバーに向ふ

次期大統領ハーヂング氏の親友なる米國上院議員メジール、マコーミック氏がハーヂング氏の意見を聯盟總會に提出するためゼネバーに向ひしは注目すべし（華盛頓七日發電）

米國參加を拒絶

大統領ウヰルソン氏は國際聯盟の指名に拘る軍備縮少委員會の討議に米國委員を參加せしめられたしとの聯盟側の勸誘を拒絶して曰く『米國が聯盟の締盟國に非ざる限り該委員會の討議に對しては非公式にも其委員を任命し之に參加せしむる能はず當然の状態といへども此際は不……併し米國は世界の軍備縮少計畫に就きては衷心より同情す』と（華盛頓七日發電）

亞細亞移民協定

米國、加奈陀、濠洲間に

日米交渉は目下進捗しつゝあるが米國新政府就任後上院議員ミニー氏の提議に從ひ米國加奈陀濠洲間に亞細亞移民に干する協定をなすべく有力なる會議開始せらるべし（華盛頓六日發電）

東支撤兵拒絶

小幡公使の對支通告

小幡公使は曩に支那政府より東支鐵道沿線に於ける日本守備兵の撤退を要求し來りしに對し本日午後四時外交部を訪問し右守備隊撤退を斷然拒絶せり（北京九日發電）

愛蘭に自治領制

首相ロイドジョーヂ氏は愛蘭政策の不人氣に鑑み形勢を轉向せんと決心し濠洲南阿の如き自治領土に行はるる自治制を與へんと覺悟しつつありと（倫敦六日發電）

勞働長屋

（三）調査の結果

山名國來

人口狀態

現住七十四戶の總人口は二百七十八人にして內地人七七八人支那人三人を除くの外二百六十八人は全部朝鮮人なり

總人口二百七十八人を總戶數七十四戶にて除したる一戶平均口數は三人七六の割合に當り……今左に年齡別に依り表示すべし

		八歲未滿	十二歲未滿	二十歲未滿	六十歲以上
內地人	男	一	一	一	…
	女	二	一	一	…
	計	三	二	二	…
朝鮮人	男	三二	二九	八一	一
	女	三一	一七	七四	三
	計	六三	四六	一五五	四
支那人	男	三〇	三〇	八三	一
	女	三四	一八	七六	三
	計	六七	四八	一五九	四

十七歲未滿の女子が比較的少く且つ六十歲以上の所謂勞働不能者が甚だしく僅少なるとなり之れ前者は婚姻又は其他の事由に依り早く他に移住する者多きに依るべく後者は放浪變遷の家庭に自ら老者の僅少なるべきは自然の所趨なるが爲なるべきか男女の割合は前表に示すが如く總數に於ては略ぼ相均等せるを見る而して其の割合は男子百八に付女子八十八人五分に相當す是等居住者の唯一の經營むる所は勞働に在り幸に全人口中百五十九名即ち五割七分は最も勞働に堪ふる十八歲以上六十歲未滿の者なり

又子供の割合に多きは注意すべく八歲以下の者一戶平均〇、九……

各戶別に其の包容人口數を調査したるに左表の如く最多の總口數は九人にして一戶、單身居住者は二戶最も多きは三人を一戶とする者十九戶あり左表の如し

	一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人	九人
內地								
朝鮮	二	六	六	八	七	四	一	…
支那		一						
合計	二	六	九	四	八	七	五	一

人口二百七十八人に對し七十四戶なるを以て一戶平均三人七六に相當せることは前既に之を述べたる所にして斯……の關係は左……

東京大阪の……を……に比すれば……の如く……數の人を收容せり此の場合には第十九號にして人口に付□〇、九五を有す

	戶數	人口
內	四	一
一家	四三	一〇
	四四	九八

東部西伯利の土著民族（九）

帝國大學講師　鳥居龍藏氏

元來土人の居る其の多くの所は河の沿岸であつて殊に東部西伯利邊りの探險には左程奧深く往くの必要はない夫れは彼等は河の沿岸に在つて漁獵などの漁りして居るからである。然るにオロチヨンのみは狩りを以て生として居るが故に好んで森林針葉樹等の森林を擇んで住居する。隨つてオロチヨンは多く興安嶺の奧深く往つて居る。次に尚此のインゴダ河からシルガ河を傳はつて北の方に來ると、ミマネーグルといふツンクスが居る。是等の者は馴鹿を家畜として居る。而して尚東部に向つて行くと有名な金鑛が途中にあつて夫れからブラゴエシチエンスクになる。此の邊になると哥薩克の居村が非常に多くなる。而して此の上部地方には岩山が多く針葉樹などが密生して居て山水亦極めて明媚である。一方は亦一望漠々たる平原であつて山は無い。此のブラゴエシチエンスクは支那領即ち黑龍江省であつて此處は近頃大分盛んになつた。ブラゴエの傍に黑河といふがあるが此處は遙に展して來た。黑河を少し距つて五里ばかり往くと愛琿といふ所がある。昔時の愛琿は相當見るべき所であつたが近來は甚だ振はない。黑龍州は日本軍の撤兵と同時に邦人も引揚げて既にボクシエヴイキになつて居るが愛琿と黑河は……

一方は露領ではなく支那領であるが故に今も猶支那人が營んで居る。即ちブラゴエシチエンスクで一方は愛琿黑河があつて居るから將來貿易の上に於て面白い問題であらうと思ふ。其處で激江が流れシチエンスクに來て始めて段々流れて來て合流する。其の合流點……船が動搖して河水……のみならず松花江の合する爲に黑龍江……大きな河になる其處で……になつて居るのは……流なりや將又松花江……やといふ問題であるが松花江が支流で黑龍……あると謂れて居つた露國のアムールの方……くなり一方は黑龍……

朝鮮總督府編纂　朝鮮語辭典

四六倍判背革本總函入　總頁九八二頁
定價拾圓　送料五拾錢（見本進呈）

曩に朝鮮總督府に於て本辭典編纂の事業に着手して以來年を閱すること十年斯學の權威者を網羅して悉く其蘊蓄を傾注し以て研鑽推敲も一字一挿畫と雖も忽にせず茲に燦然たる一大朝鮮語辭典の成果を見るに至れり其語數及挿畫の豐富にして排列の整然たる紙質良好印刷鮮明檢索自在にして一として誤謬なき眞に絶對的正確なる朝鮮語辭典と謂ふを得べし宜なる哉本辭典を江湖に提供して日を経ること一旬、逐日の注文殺到して初版數旬ならずして盡んとするの盛況にあり以て本書が其權威的價値を壟斷せりと謂ふも敢て過賞にあらざるを信ず茲に推薦す

朝鮮總督齋藤實閣下題字
東京帝國大學教授文學博士藤岡勝二序
朝鮮總督府編修官文學士小倉進平著

朝鮮語學史

菊判クロース金文字美本
總頁數三九一頁
定價參圓八拾錢、送料二十錢

朝鮮語學界の權威たる著者が其專門とする語學の方面より朝鮮語を研究し多年の深奧なる蘊蓄を披瀝して茲に本書を著述するに至れり其說く所主として朝鮮學者の自國語及び日本語、支那語、滿洲語、蒙古語、女眞語等諸言語に關する各方面の該博なる學說を網羅し之に嚴正なる語學的批判を加へ鮮明なる寫眞版數十葉をも挿入して之が解說を補へり實に朝鮮語學界空前の快著たり眞に朝鮮を愛し朝鮮の文化を攻究せんとする人士は須らく本書を座右に參して以て進展の好侶伴たらしむべきなり矣

發兌　京城本町一丁目　大阪屋號書店
電話二〇八六、六八四番　振替京城二五七三番

請合金側時計　特價月賦販賣

凡て一時に支拂ふと云ふ事は億劫でありますが此度貸付月賦拂の方法を設けまして一町村先着三百名限り貸付申込次第現品を發送する事と致しましたから至急に申込で下さい
申込用紙規定書等御一報次第進呈

大阪市東區常盤町三丁目六番地　眞美堂本店

勸農式　製縄機　囘轉毛切附

製縄機は他店が何んと云ふても囘轉毛切付の特種の裝置ある本器械に限る迅速の縄が出來る此際他式はそばにも依れぬ半價提供す

詳細說明書進呈
大阪九條中通り　日本勸農社

◇日下開催中
特製羽子板陳列
十一日より　クリスマス用玩具陳列
十五日より　新年用食器陳列

三越吳服店　京城

大島紬見本進呈　鹿兒島市金生町　若松屋

戶籍上の改姓改名
が自由にデキル秘訣法あり内容說明書新刊名記入申込次第無代呈進
東京代々木富ケ谷帝國姓名學會

◇自動車界に志す人は先づ本校の理想的設備と實習教授振を見よ◇
日本自動車學校
東京蒲田驛前（詳細はハガキにて申込次第自動車界內學則四十頁進呈）

和歌會員募集　入會の好時期なり會員には新年詠進の勅題無料にて添削する便宜あり歌を知らぬものは日本人にあらず
印刷規則進呈　郵券一錢
明治天皇御歌（御製）學術專輯なり
東京麴町區平河町
大日本歌道奬勵會
絹本丈四尺四寸御歌所參侯氏諸謹書　實費金五圓

小說　◎不景氣知らずに安全第一の好副業は貸本です面白くて多く儲かる好副業は小說の貸本です貸本店新規開業希望の方は郵券六錢送られよ目錄並に「確實に儲かる貸本店開業の手引」書を呈す
大阪市南區三休橋鰻谷南入　樋口隆文館

周易家相　京城明治町二丁目　岡村介石

非協定　日本共立火災保險株式會社
當會社ハ非協定例ニ立チ有力ナル外國會社ト再保險契約シ時勢ノ要求ニ鑑ミ共濟主義ノ下ニ公益的精神ヲ以テ何モ一手ニ引受ケ可申候
京城代理店主任　橋本茂雄
京城本町四丁目　電話二八二七番

歲暮大賣出し
福引　景品　進呈
京城　龜屋

海底線問題に關して 米の對英覺書
二國に委任するは不當 米國の誤れる見解

舊獨海底線處分
審議の爲評議員會新設

日本の造艦計畫
デーリーメールの所報

移民三年停止案
大多數にて通過せん

大多數の投票者あるべき動議を四十九票に……移民委員會の可決したる……の內本法は……(華盛頓六日發電)

海軍問題が禍して 罅の入つた英內閣
重大なる意見の相違

……の問題に關し海軍省と……となつて來た海軍……大規模なる戰……この理由を以て……(倫敦七日發電)

愛蘭事務大臣が「犬共默れ」と大喝
混亂を極めた英國議會

アルメニヤ革命運動

アルメニヤ國境問題

西諸州の財界險惡
二十二銀行の閉鎖

墨支新條約商議

廣東軍政府宣言

教會を襲擊す
警察隊復讐

ダブリン教會は七日警察隊の襲擊を受け會員六名逮捕せれたり(倫敦電報)

ユーリン宣言
支那紙所報

去る十一月三十日ユーリンが外交部を訪問して提出せる文の宣言書を掲載せり其の要領大體左の如し(東京電報)

一、國際不平等の條約を拋除すべし即ち從前の天津北京の各條約を廢止す

三、兩國の領事制度を回復す

四、東清鐵道に關する露亞銀行の不當なる要求は拒絶す

五、其の他水陸交通政策及關稅の自由を討議せんとするにあり

飛行機輸送

金額洋行が陸軍部に賣却せる飛行機七日北京に輸送せられたり(天津電報)

證券交換所
復活に決定

當地支那側は財政總長の奔走にて證券交換所を復活することに決定せり之日本側の天津取引所等に對抗する爲なりと五國信託等に對抗する爲なり……及び……らんも成立覺束なし(天津電報)

平和條約諮詢

米穀專賣審議

朝鮮事情
總督の說明

齋藤總督は九日午後一時より芝櫻田本鄕町の出張所にて拓殖研究會員と會見し二時間に亘りて朝鮮の近狀より教育產業交通其の他の施設に就て詳細なる說明を與へたり(東京特電)

昇格運動
當局の擊退

目下各方面に於て盛んに試みらるゝある學校昇格運動は十日の閣議にて話題に上るべきが東京高等師範廣島高等師範東京高等工業大阪高等工業神戶高等商業の五校は目下の處昇格に決定したるも其他の昇格に就ては教育調査會すら未だ開會せられざるのみならず果してイツ開會すべきかも不明なるより文部省においては目下の猛烈なる昇格運動に鑑み……所ありて上京して運動中の出口高等商業學校長に對し速かに歸校すべき旨の退京命令を……

京城醫專昇格說
實現は大正十一年度

朝鮮教育調査委員會を設置する事となり其委員任命は今月末行はるゝ筈なるが同委員會に諮問の結果京城醫專を醫科大學に昇格せしめらるべく大正十一年に實現すべし而して同校教授は既に內地諸學校より物色中なり(東京電報)

昇格は當然
志賀院長談

王世子御入學
陸軍大學へ

王世子殿下には陸軍大學再審試驗御合格九日愈々御入學あり之れより每日鳥居坂御用邸より御通學……軍事學を御研鑽あらせらる(東京特電)

駐日智利公使
ロープル氏

駐日智利公使リヴァ氏の後任としてロープル氏任命されたりとの公電あり(東京發電)

暹羅公使
任命發表

勳三等 政尾藤吉
特命全權公使(二等) 暹羅駐劄被仰付

客月の朝鮮貿易
合計三千五百八十萬圓
差引百三十九萬圓の入超

輸出入

輸移出

特資申込
四百萬圓
森殖銀金融課長談

法王廳の傳道部
京城に設置されん

羅馬法王はスオートテョに新に傳道監督部を設けたるが同監督部は海南島及東南國境に添ふ地方を包含する筈なり法王は又漢口及び朝鮮に傳道監督部を設けたるが朝鮮にはベネジック教徒を任命せり同監督部は滿洲及日本を包含し京城に置かるべし(羅馬五日發電)

仁川期米强調

土地基本調査
來春早々着手

經費節減
政務總監通達

煙草專賣事情

鮮銀金利整理
滿洲利下說

軍人分會表彰

海東銀行總會
新重役決定

京取重役批難
總解合は不調=立會繼續

市場重役語る
何の失態

編入艦艇入港
鎭海灣へ

總督東京發期

明年度豫算打合のため上京中の齋藤朝鮮總督は來る十五日午後二十分東京發京城歸任の途に上り朝鮮にて越年し一月中再び東上する筈なり(東京發電)

大庭中將
進級せん

陸軍教育總監大谷喜久藏大將は來る廿八日を以て停年滿期に達すべきを以て後備役に編入せらるべきことゝなりたり而して其後任としては目下詮衡中にして未だ決定するに至らざるも結局軍事參議官本鄕房太郎大將なるべく之と同時に大庭朝鮮軍司令官は陸軍大將に任ぜらるべく其他多少の異動行はるべし(東京發電)

評議候補者選擧
顏觸は豫選の通り

一九票	大久保雅彥
一九票	賀田直治
一八票	石原磯次郞
一七票	古城菅堂
一七票	金漢奎
一七票	元悳常
一七票	芮宗錫
一七票	劉秉珌

歲晚市況(三)

峯尾氏に內定

山路新司令官
二十日來城

南浦の評議員

大阪海外視察團

定列局長會議

干冲漢氏來城

土地課講習會

慰問金品取纏

煙草專賣急務
(二) 專賣は製造家の福音

耕作者にも福音

人事消息

鮮人强盜又も巡査を擊つ
慶南宜寧郡の慘劇
一名は即死一名は重傷

仁川の火事

天氣豫報

七僧軍の跋扈

十貫目の九日宇品に陸揚し廣島稅關の檢……支那語研究所生……

峻坂嶮路を踏破して
杉山枝隊の行程（下）
杉山聯隊長談

渾河の上流永陵街に通ずる沿道の諸所に散在する鮮人良民を慰むる爲め夜半件の影暗き嶮路を攀ぢて行き夕に星を頂いて歸るなどは將卒の苦心も推して知るべしである、十八日小野塚少佐の率ゆる熊崎中隊をして錯草嶺の險を超えしめ、寬甸に進發せしめ

枝隊の主力は東南方桓仁縣

の東邊境を過ぎ、二尺に餘る雪路を辿り二十日渾河に從ひ桓仁縣の商業地と稱せらる、沙尖子に到著した沙尖子は桓仁を距る十二里の地點である、是より桓仁、寬甸、輯安三縣の接壤地附近一帶を最も詳密に視察し翌二十一日更に渾河東方一帶の地即ち覇王槽、三義甸子、及爽皮溝方面に行動し高塚隊は茲に於て主力に合した此の地方一帶は排日鮮人の巢窟であつたが之を放逐し、又一方日支の親交を敎ふる事を得たるは非常の仕合せであつた、此の地は特に馬賊討伐で

有名の地であつて支那軍隊

及巡警等多數駐屯して居た、支那官憲の希望により支那軍隊及巡警等と日本軍隊とにより互に射手を選拔して競點射擊を試みたが支那側は五十發中七發の命中が好成績であつたが、我が軍は二十發の命中であつた爲めに支那官憲は日本軍の武器の精銳と射擊の巧妙なるとを見て殆んど顏色なき有樣であつた、沙尖子より渾河を涉り寬甸に向へば依然道路險惡にして未だ曾て支那の車輛さへ通じた事のない大嶺橫たはる事實に二里餘、支那官憲は道路の峻嶮の爲めに

桓仁に引き返し寬甸に向ふ

事の得策なるを說いたが我軍は始め地圖其他の書類により又は桓仁に於て支那土人に就き探査したる結果決して軍旅を行ふに困難でないとの自信があつた爲め且つは日本男兒の行軍力の偉力を示さん爲めに敢て此の嶮路を選んだのであつた、十一月廿二日天暗く風寒く、夜來の雪未だ歇まず行進甚だ艱難を極む、行く事一里干溝子の峻嶺に逢ふ此嶺は聞きしに勝る、峻嶮で而も降雪益々烈しく一步進み半步退く程の難行軍で剩へ霧深く溪谷を罩め

爲めに回顧を辨ぜざる中を

我北陸男子は雪と戰ひつゝ互に相勵まし相戒め行進を續けたが大車を行るに困難を感じたを以て荷物を解き卸し各兵に手に之を運んだが靴は濕つて凍ほり飢渴交々到るをも顧みず、我健兒の面上殺氣を呈する事正に五時間にして漸く全部の荷物を車輛に移す事を得た、此の上更に溝滯子の嶺あり、此の二嶺の通過に日子を費す事二日、此間支那の巡警は車輛の通過に極力斡旋を試み亦附近の村落よりは壯丁數百を召集して、我軍隊の爲め徵善の努力を吝しまなかつた、此の

數日間の勞苦は今回行軍中

の艱難事であつたそれより朝鮮國境に近き渾河の上流に沿ひ雪深き難路を行くこと二十里、二十七日の黎明始めて寬甸城內に到る事を得た、この地は峨々たる山岳に圍繞せられたる風光明媚の僻地である寬甸に滯在すること二日勇を養ひ寬甸を出發して安東に著したるは先發隊が十二月二日、聯隊本部其他は三日到著した、今回の行軍によつて得たる效果は不逞鮮人を驅逐したる事

鮮人良民をして不逞鮮人の

何等なす能はざる事を自覺せしめ且つ日本軍隊の精銳な秋毫も犯す能はざる事、日支親善の實を擧け得たる事等にして詳細に亙る感想は後刻更に語ること、しよう（安東縣）

…當分人氣を回復し豆粕取引の復活を見る迄には尚相當の時日を要すべしと（安東縣）

大豆出廻皆無
安東縣の貿易

對日本貿易は、殆んど杜絕の有樣なるが就中豆粕の如きは內地及び朝鮮の米安にて人氣腐れ手合せの見るべきもの皆無なること近の銀安の爲め農家は大豆賣り惜しむこと甚だしく又油房側にありては既に結氷期に入りたる爲め出廻り杜絕したると陸路は暖氣の爲め道路の凍結遲き關係上馬車豆の出廻りも到つて少く最近の調査によれば油房側は四圍の事情に餘儀なくされ操業を休止し目下少量の作業をなすものは二三戶に過ぎずと云ふ此の傾向は尚ほ年內持續さるべく

米商對勞働組合賃金問題
圓滿解決す

群山米穀商組合員對群山各勞働組合間の賃金低減問題は去る十一月初旬米穀組合より各勞働組合に對し穀價下落の理由を以て賃金二割方低減の通告を發したるに各勞働組合は結束し穀價を除く諸物價は尚ほ未だ低落せざる際勞働賃金の値下を爲すが如きは不條理も甚だしきものなりとして連名抗議を申出で爾來兩者間に紛擾を重ね去る六日に至り各勞働組合勞働者は一齊に同盟休業を爲す等事態容易ならざる形勢となりたれば米穀組合側にては組合員の調印を取纏め無條件にて群山商業會議所に調停方を依賴し同會議所にては急遽役員會を開き赤松副會頭野邑書記長をして兩者調停の便に當らしむる事となり兩氏は勞働組合側代表委員飯塚忠三郎氏其他を招致し懇談數刻遂に大正十一年一月三十一日迄現在賃金を維持し以後は當時の經濟情況に應じ改めて協定すべしと云ふ條件を以て圓滿解決を結たりと（群山）

米價の前途

米價の前途は殆ど豫測すべからざるものなり政府に於ては常平倉問題を論議され經濟調査會等をして專ら其の調査を進めしめつゝあるが古來常平倉は何れも失敗に終りたるが如し投機界をして今日の攪亂に導きたるは仲小路氏の失敗にして實力と投機の均等を計らず片破たらしめたるは多大の原因と言はざるべからず

三井の大縮小
安東出張所撤廢

三井物產株式會社は從來安東縣に出張所を置き輸移出入貿易に相當の活動をなしつゝありしが本年四月以降財界動搖時代より漸次縮小主義を取り主任永原正雄氏は大連支店に轉任し其の後任として哈爾賓支店より天野様二氏來りたるが最近に至り全然出張所を廢し出張員詰所となり天野主任は長春出張所へ次席堀氏及び小根某は大連支店に轉任し出張員詰所主任として戶木滿一氏を任命したるが是れ三井の安東縣の前途を悲觀したる象徵と見るを得べし（安東縣）

滿銀臨時總會

滿洲商業銀行は二十二日午後一時より公會堂に於て臨時總會を開き安東銀行と合併の經過報告をなすべしと（安東縣）

閔元植氏講演

國民協會長閔元植氏は去る四日來春五日午後一時より公立普通學校講堂に於て同午後六時より春川警察署練武道場に於て日本主義に關する講演を爲したり（春川）

安東取引所創立總會臨席の爲め七日朝安東に來り安東ホテルに滯在中の代議士小泉策太郎氏は往訪の記者に對し左の意味の縱談を試みたり（安東縣）

財界安定せん
小泉代議士談

財界の安定　財界は是より以上惡化する事なかるべし今日の安定と稱するは財界は是より復活すべしと云ふにあらず惡きは惡きなりに安定して多少の時日を經過して後回復するものを見るを至當とす內地に於ても今後部分的又は個人的に多少波瀾は免るまじけれど是れ以上一般的に惡化する事はなからんと思ふ

程度問題　要するに財界の觀測は其の立場又は見樣によるものにして當地方の銀相場の如きも歐洲大戰前の相場と今日の相場を研究して其の高低を語るべく唯最高時の銀價に比し今日の暴落を語るは頗る早計と言はざるべからず株式の如き熱狂時の相場を以て今日の相場を見る時は悲慘は即ち悲慘ならんも大戰以前の京都時代に比較する時は其の距離甚だ遠からざるを見るべし

銘柄を『仁川京畿』と
十二月より大坂の標準相場に出る＝官民共に努力せよ

仁川に於ける米穀檢査に關し或は嚴密に過ぐる嫌ひなきに非ずやとの批難ありしが如く聞けど大體に於て從前と大差あるなく標準米の格差なき限り檢査方法に就ても俄に動搖すべき理由なし唯

從來と多少異にせる點は乾燥の點に於てより多く注意を喚起したしとの希望に基ける檢査の立場にして赤米の混入或は夾雜物の多寡等に至りては多く論ずるを要せざるべしと言ふ今日鮮米に對する註文の主要なる點は乾燥不充分による變質の防止にして此點に於て尚は當業者の最も注意を促すの要あり是等の矯正向上を計る上に於いて米以上の充分なるものと認めは乾燥に重きを置き絕對に標準米以上の合格たらしめざる方針を執り居れり殊に

一般に希望したきは從來仁川より移出せらるゝ銘柄は仁川忠淸と呼びて大阪の標準相場に揭げられ京畿產米を標榜せざるべからざる仁川に於て京畿の銘柄を有せざりしは最も遺憾とする處なりしを以て先頃來數回大阪當業者の意向を徵し交涉を重ねたる結果漸く十二月一日より仁川忠淸の外新に『仁川京畿』なる銘柄を制定して標準値を揭ぐる事となれり是等は將來京畿產米の氣を吐く階梯に置かれたるものなるを以て市場に於て乾燥其他充分の注意を拂ひ

聲價の發揚に努力せざるべからざるは獨り當業者のみならず實に官民一致の義務なるべしと信ず產米の眞價を發揮せんとせば先づ檢米の統一嚴正を計らざるべからず而して當業者の了解ある精製に俟つを得ば日ならずして京畿米の聲價を一般に認容せしむるを得に至るべし（仁川米豆檢查所藤本主事談）

道知事訓示（江原）
警察署長會議に於ける

本月二日より四日迄三日間江原道廳に於て開かれし警察署長會議に於ける元道知事の訓示左の如し（春川）

制度改正後茲に第二回の警察署長會議を開き所懷を述ふるの機會を得たるは本官の欣幸とする所なり官規の振粛は百事興廢の繫る所にして秩序の維持勤務の勵行共に緊張に因て之が正確を期するを得べし然るに動もすれば綱紀の弛緩を疑はしむるものあるは本官の頗る遺憾とする所なり即ち就捕の犯人を逃走せしめ或は自己の地位を顧みず敗賄の非行を敢てし若くは他を誣告して却て懲戒に觸るゝが如き者あるは綱紀弛緩の結果に外ならず特に近時警察官の民衆處遇の失當に將た品行の不良に社會の非難を招きたる事例なきにあらざるは實に遺憾に堪へざる所なり宜しく部下職員の監督指導に最善の力を盡し紀律を嚴肅にして其の品性を陶冶し以て警察官たるの眞價を傷けざらんことを期すべし昨年警察制度改正以來茲に一年餘其の間一時惡化しつゝありたる道內民心の趨嚮も漸次平靜に向ひつゝありと雖も他道に於ては不逞者の過激殘虐なる行動は今尚止まず警備の間隙に乘して爆彈を投擲し或は暗殺し以て民心を動搖せしめんとする傾向を生ずるに於ては本道に於ても警察官の努力に依り幸に如上の不祥事を惹起するに至らず道內の治安を維持するを得たるも不逞者は平靜なる本道に侵入し不穩の計策を施さんとするの情報しばしばありて之れが警戒を要すべき… [illegible]

大邱避病舍
改築決定
懸案解決

大邱府に於ける府立避病舍は僅に十四名を收容し得るに過ぎざるを以て本年の如き天然痘其の他傳染病流行に際して防疫上の不便少からざるのみならず大邱として將來由々敷大事を招來するなきを保せず衛生上の不安此に於て缺陷たるは之れが改築に就いて識者中なりしを以て松井府尹は着任以來銳意之れが改築の事に決し其の總額七萬圓餘を以て其の三分の一を國庫の補助に三分の一を地方費の補助に殘額を府民の負擔とする方針にて立案中の處既に總督府との諒解をも得たるものゝ如く右は防疫費よりの補助を得るに至るべき見込みありとの事なれば大邱府民一般の多年の懸案たりし該問題も近く解決するに至るべしと（大邱）

下村長官來去

政務長官下村宏氏は六日午後新義州に到著一泊の上七日岡本警務課長、石黑道第三部長等と安東縣に來り安東領事館を訪問されより市內各地を巡視の上十一時發北行列車にて奉天へ向け出發せり停車場には多數官民の見送りありたり（安東縣）

華嚴寺行記（三）
金州支局　曉天生
猛獸狩の卷

◎時に午後一時警官一同武裝して整列來賓として山縣郵便所長及び吉田外人獵士三名號令一下隊伍堂々進發するさま天晴なりし勇士の概があつた約一里程來て丁度花岩寺下なる深林に到り一隊を二組に別ち一山巒を狩を試みた雉子や鵯の如きは大袈裟に云へば一獸二百羽と云ふも過言ではない兎に角獵く立ち迷ふてるるが目的は猛獸狩である故雉子や小鳥には眼も見れずエイヤー／＼で狩立てたが別に猛獸らしきものも飛び出さず僅かに猪二頭狩り出したるも武運拙く遂に取り逃して了つた結局一も物得ず午後四時花岩寺に引揚げた

◎寺には既に係先着し何に彼と用意してゐる、寺院の廣き事オンドルの廣間は約五十疊敷に立派である溫突を張りて五十年になると云ふ紙の上は水晶の如く手入れが届いてゐる一同茲に晩飯にすることにし住職の親切なる待遇に深く感謝し用意の馳走に大に酒宴を催したが何れも元氣者ばかり唄ふ舞ふ果ては八木踊をやる踊る叩く所かる深山に斯くの如き大賑ひを呈する等は曾て無き處ならんか夜も深更に至り漸く寢に就きたり

須らく暗闘を排せよ
鳥致院刻下の重大問題
尤も容易に憶測を許さず

竹下鳥致院面長が忠南道評議員に出馬しはしなくも物議を生じ遂に面長の職を辭し繼いで面協議員も辭表を提出するに至り事態容易ならざる事は既報の如くなるが面長の辭職は男子の面目上止むを得ざる所とするも協議員の辭表提出に至りてはその理由未だ徹底せざるものあり撤回か斷行か今の所容易に憶測を許さざるが如し何れにもせよ鳥致院としては近頃の重大問題にして此の機會に於て一切の暗闘を排して面政を刷新すべしとの聲漸く盛んならんとしつゝあり（鳥致院）

結局中島氏出馬か

竹下剛氏立候補斷念の裏面には道廳側の勸告もありしにはあらざるかと思はるゝ節あり兎に角同氏の斷念により目下鳥致院より出馬すべき者一人も無きものゝ如く又面協議員も此の點を慮り面民に對する責任上辭表を提出せりとの事なるが有志間に擧明日の切迫せる今日俄に中島隆衛氏を推さんとの內協議進捗しつゝある模樣なるが今の所燕岐郡より出馬せるものは錦南面の久保田政吉、鳥致院面李永昌、西面韓日東、燕岐林東勳、全義吳某の五氏なり（鳥致院）

新義州候補顏觸
多田、加藤、松隈三氏

道評議員選擧の目前に迫れる今日新義州に於ては未だ何人が候補者たるべきか公然名乘りを擧ぐる者なきが一般の觀測は多田榮吉氏官選となり加藤鐵治郎、松隈哲次兩氏民選候補者と決定すべしとのことなるが鮮人側に在りては此際是非一名の官選議員を出したき希望を有し居れりと（新義州）

大田道議選擧打合

大田面協議會員は八日午後一時より面事務所に會合道評議員人選に就き協議したるが其結果郡內各面協議員と步調を共にすべく決定し九日大田郡廳に於て各面協議員と打合せをなす事に決定したり（大田）

木浦の道評議選擧と協議

木浦府協議會員の選擧すべき道評議員の選擧は愈々切迫したるが常に府の平和を念とせる奈良山野の兩氏は該候補者の內協議を爲すべく兩氏發起となり七日三吉野に於て協議員全部を招集し歡を共にし互に胸襟を披瀝して意見の交換を爲したるが其結果某々兩氏を推薦するに決し散會せり（木浦）

候補顏觸決定す
仁川學校評議員選擧
何も適當の人物出でん

來る二十日擧行せらるべき學校評議員選擧は仁川に於ては鮮人有識階級の活躍に依り一般に頗る興味を喚起し有權者にあつても漸次選擧に對する自覺を呼び今次の學校評議員選擧に就いても適當の人物を物色して推薦する事に決定せりと聞く最も有權者總數僅に七十三名に過ぎざる內十二名の候補を出すだ事は或は定數に達せざる事あるべしと杞憂せらるゝ節なきに非ざるも鮮人有識者間に於ては名譽職に選出せらるゝを光榮とする傾あるなり過般の評議員選擧當選にしても各自に懇意者を招きて祝の宴を張れる等如何に熱心なるかを想像するに難からむ、學校評議員の選擧に就ても亦此意味に於て進んで候補たらんとする者頗る多く有識者階級並に有權者の一部に於て推擧すべく略決定せる者は左の如くなりと

丁致國、張錫佑、沈能德、朱命瑞、朱明基、徐相彬、李宰求、張世銓、呉昌植、崔泰柱、鄭順澤、李東皓　以上十二名

南浦賴母子講
其數俄に激增

鎭南浦に於ける賴母子講の數は從來五十七組內外ありしが財界變動以來著しく其の數を增加し昨今にては正に百組を算し此の總額八萬餘圓に達すべしと而して落札額は本年五六月頃より漸次低落の傾向を來し今日にては四割七、八分に下れりと云ふ斯く落札額の斷落を見たるは一般金融の沈滯の爲め資金の缺乏を誘致せる爲めなりと（鎭南浦）

大田普校成績

大田公立普通學校附設簡易商業學校は去る九月開校したるが入學希望者多く目下の就學生徒は二十七名に達せり而して同校には單り鮮人のみならず內地人も入學…

◇人に好かる、

隱し藝

▽社交の秘訣

新舊流行歌　特價　三光社

僅か七錢で古畳が新になる

驚く程キヽメのある　男　女　小便　◇小便近き人へ◇

繪探し
金指輪千個提供

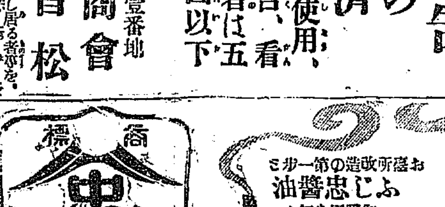
問題　規定　趣旨

東京市京橋區　京榮社懸賞係

ドラッグに就て警告
商會專用の商標は登錄濟
同一又は類似の商標を使用、僞造、摸造する者、廣告、看板、引札等に使用する者は五年以下の懲役又は千圓以下の罰金に處せらる
大阪市東區內本町二丁目拾壹番地
合資會社　ドラッグ商會　有田音松

商標法　第三十三條　左の各號の一に該當する者は五年以下の懲役又は千圓以下の罰金に處す

ドラッグ商會　東京ドラッグ　大阪ドラッグ　日本ドラッグ　トラック　の屋上看板を揭げて…


商標　忠
お醬油の改造所第一步さ
ふじ忠醬油　御愛用を乞ふ

結核專門　古賀病院

京日案內
高給社員採用
求住宅向賣家
社員募集
百圓拾ヶ月賦貸
觀相
毛皮なめし
ほねつぎ　柔術道場
糸卸　ビワコ屋
土地家屋

會葬御禮　父　板倉光秀　親戚一同　友人一同

會葬御禮　父　岩永法重

家庭と婦人

寒さは婦人の敵（下）

婦人の腰の冷える一つの原因は足の尖端から來る寒さ

脚に對する防備

龍山鐵道病院産婦人科　伊笠醫學士談

此の様な風で婦人の活動が不敏になり、しかも第二の日本國民の補育者たるべき婦人の健康を損ずると云ふ事を思ひ合せば腰から下の開け放しは中々輕々の問題ではありません。然らば

如何な防備を施したら宜いかと申しますに、此がまた中々六ケ敷い事なのであります。それと云ふのは理想的にこれを施さうとすると日本婦人の服装を改革し延いては常坐風の改變を行はなければならないからであります。日本服の不衛生不經濟なるは皆様も御承知の事でありませう。袂をつける事の不經濟、八ツ口る開ける事の不合理

寒氣に對する

不合理な欄匿は晋はずもがな、巾廣の帶を胸部にしめて窮屈な想ひをし乍ら長い間對座して居る様を見ると御氣の毒の様な氣がします。それかと云つて膝をおくづしなさいと云はれもしない悲哀に遭遇する事は御婦人同志は心當りがあらうと存じます。その外數へ上ければ澤山ありませう

日本の服装の改變と

いふ事に就きましては長くなりますし唯今申し上げる事とは少し岐路に入りますので茲には申し上げません。それで腰から下の防寒は概して衞生的な西洋服に改めます事先づ可なりでありますが服装を全く西洋式に改めるといふ事は日本の習慣上からいひましても又實利を離れて考へましても一朝一夕に行ふ事も出來ません。そこで

只今の状態を

餘り崩さずに如何すればいゝかと申しますに、先づ腰から下に男子の袴下の様なものを穿くのが宜しからうと思ひます莫大小の様なものでピツタリと肌につくものはずれ上つて大變氣持ちが悪いものですから、薄い布で袴下を筒下に縫ひつけて脚の下部でしめるのが良いと思ひます。それから足ですが此の

足を冷さない

といふ事が最も肝腎であります。それには下駄をやめて支那の男靴様なものがよからうと思ひます外側が毛繻子ビロード[illegible]で内側に毛のついたものが市中に出て居りますがあの様な物が體裁も先づよく防寒にもならうかと思ひます。日本服でも少し習慣をつけますとの下駄を求めるから見ればもつと靴價に買ふ事が出來ませう

霜どけ等には

少々困りませうが、日本の下駄でも困る事は大差はありますまい。寒いからといつて屋内に蟄居して温突の暖氣に蒸され終日寢る様に暮さうよりは、防寒の裝ひを着けて屋外の寒氣を凌ぎ寒國の眞の爽快を享受されん事を希望します。尚婦人の寒中衞生に就きましては少々申し上げたい事もありますが、今日は一番下部の足丈けで止めて置きます（完）

早く御差出が願ひたい

[illegible]城局から年賀郵便の受付は既報の如く本月十五日より開始される筈であるが例年の實況に依つて見ればその年の暮に近迫して差出すもの多く為めに通信一時輻輳して困難を極め局員としても折角の計畫も功少きを遺憾とし本年は十五日早々可成速かに差出され度き旨本日京城郵便局より重なる官衙銀行會社其他の團體に向けて依頼状を差し出したと云ふことだ

佛敎婦人會寄附

國境守備隊慰問の爲本派本願寺朝鮮開敎々務所は管内各出張所へ國境守備隊慰問の捐を奬勵しつゝあるが馬山眞宗本派佛敎婦人會は本村開敎使の勸誘に依り金百七十圓毛糸[illegible]を醵出して之を愛國婦人會朝鮮本部に送り寄贈方を依頼したのである（馬山）

日本服ともかび捨てを要へます時などは少し手間どります。それに毛物ですから時々挑つてやらなければならない事もあります丈けで結ぼしめる處もありますから著くづれなどの心配もなくめいめいに處理させて居きますから評判も[illegible]、どちらのお宅でも御子供方の學校著には制定にお世話のやけるもので――尤も上下一律には申されませんが

其中を基準

として申しましたら洋服と和服とは前者の方が優れた點がある様に思はれます、運動によろしく服装の爲め束縛されることがありませんまた勞力の經濟にしましてもたしかに前者が優つてゐる様です。大觀三年を命とされてゐますさうで然しこれは敎育の如何によりまして或はそれ程にゆかないかも知れませんが――その間和服と見る組の洗ひ張り、

縫ひ直し等

の勞力は省けます。一方は毛ですから折々の擦ひ位で足ります。地質はどうも毛物が一番よろしく物質の經濟から見ますと洋服屋に頼んでも大差ありませんが、今は家庭で仕立てられる様になりますと充分な爲になります。ただ地質の多くは外國に仰ぐ事ですからこれが私的經濟からはなれたい。

喫茶の弊害

一體に日本人は茶を飲み過ぎる

◇日本人は一體に無茶苦茶に茶を飲み過ぎる嫌ひがある、朝起きては先づ一杯、食後には勿論食事の間にも飲む、仕事に眼いてはがぶり、客があつても家族相會しても恐らく茶の出ないことは無い。

◇縱んば其の茶が番茶或はカラ茶であるにしても元來が興奮劑であるものを斯う續け飲みしては其の影響其の弊害を思はずにはゐられない。我が日本人が性急であり忍耐力に乏しいのも餘りに茶を飲み過ぎるからだとはいはるゝも無理からぬ話である。

◇何事によらず『過ぎる』といふ冠詞がついては感心しないもの、如何に興奮劑であるからといつてもさう矢鱈に飲を継續しては知らず識らずの間に肉をも害ずるに至らう、短氣にもならう、結局謹むべきは茶なるかなの嘆を漏らさしむることゝなる。要は適宜との二字を記憶してゐたい。

子供の平常著に和服と洋服何れが重寶か

「夏も冬も洋服」「度を越つてゐる」

大野軍參謀長夫人實驗談

永年お子様方の平生著を御手仕立の洋服でなされて居る大野軍參謀長夫人をお訪ねしますと次のやうに語られました『長女の小學一年迄位は

和服にして

ゐました、が、何分運動の盛んな時なものですからいたみが酷くて隨分つくろひにも手間をとります。それかといつて服裝の爲めに子供の運動を束縛する様ではその本に悖りますので、洋服制度をとりました。夏分は外の方々でも御用ひになりますが冬はあまり御用ひになりませんので袴の方がすきらしく長女など初めはよく『學校では』

わたし一人よ』と申していやがりました。それに

當地は寒い

ものですから酷寒は通せるかと案じましたが、中に防寒用の毛織物など著させますので何の不都合もなく、唯今では却つて寒いと申して和服の方が嫌いです。經濟の方に細かく算盤を持つた事はありませんが、普通洋服屋に仕立させますので縫つた費用がいりますが宅でやりますと生地だけで大變お安く上がります。上立も一寸面倒に思はれますが呑みこみましたら

造作のない

もので……ただ時間もかゝれば出來ます。

大野軍參謀長のお孃さん達　＝お母様に仕立て〻頂いた洋服姿＝

離縁された怨み

損害賠償と慰藉料二千五百圓の請求事件

三年の苦心も水の泡

曾て家庭の風波は絶ねなかつた

大邱府元町一丁目金銀細工商筒井際一事森際一に係る慰藉料請求事件第四回公判は八日午後一時より大邱地方法院に於て開く被告森際一の代理人として堀池原告古江鶴代の代理人として岸本の兩辯護士出廷せり

原告の申立

に依れば原告鶴代は大正六年七月中同元町二丁目肥料商中江五郎平並に村上町古物商森川カクの兩人の媒妁にて前被告際一と結婚し以來三年間克く内助の功を致し當時無一文なりし被告をして約二萬圓近くの資産を有せしむる迄に稼ぎしに拘らず同家の者は常に原告を迫害し本年六月中被告の實父は被告の不在中に原告を追出したるが其後被告は以前浦潮方面に醜關係ありし云ふ

梅田清子を

大阪より迎へ同年七月五日原告の荷物一切を媒妁人中江五郎平を通じて原告に突返し公然清子を迎へ家に入たり、然るに原告は以前入籍の手續きをなさゞりし故に今迄取付く島もなくさりとて泣寢入する事も出來ず遂に前記岸本辯護士を代理人として三年間苦痛を忍びての努力、三年間弄ばされたる貞操其他有形無形の損害を積り二千圓及び之に對する慰藉料五百圓合計二千五百圓の請求起訴を成たるものなり又

被告の申立

は原告鶴代は性來非常なる贅澤にて入家三日にして既に被告の實弟及び實妹との融和を缺き率爾として實家に歸り漸く再び迎へたるも其の後兎角家庭の圓滿を缺ぎ父及び弟妹とは言葉をも交さざることゝなり其れが爲め些一夫婦は實父並に弟妹と別居したる程なりしが原告は又復妹に婿を取り弟に嫁を迎へれば歸らずとて三箇月も家出を爲したる事あり其の後も村上町の某湯屋にて實妹と

些細のこと

より口論し約一箇月間家出を爲す等殆ど自分勝手の振舞ひありし故實父及び親戚が承知せず離縁せよと責め立てたり然るにそれより八箇月を經て去る六月十四日亡母の命日に再び實父の憤怒を買ひして今日迄入籍しあらざりしもの故遂に離縁するに至りしもの、原告は中準なる親戚中西某の繼者となる筈なれば入籍し與へるなどの依頼ありし故なりと原告の申立を否定したるが同人は元料理店

明石の仲居

を爲したるものとて其の當時より森出來合たるものらしく一方世間は婚後兎角家庭に風波絶へ近隣の評判面白からざりしと云ふ近く第五回公判を開かるゝ筈なり（大邱）

戀女房後日譚（八）

遂に最後の一幕となつた

小田は斷然男らしい處置に出た　常子は罪を悔いて泣きに啼いた

それは當然の歸結

常子は京城に伴れ戻されてから、二十九日の夜、高一の叔母に當る松田ブローカーの妻に伴られて小田を訪ね、自分の

罪と身體とを

投げ出した。併しそれはもう既に遲かつた。假令常子が高一に辱められ、傷つけられても、小田の家に身を脱れて來たなら、小田は常子の心を尊重して一生見捨てなかつたらうが、意氣も無く張も無く、高一のそのふが儘に引摺られて了つた遣り方、餘・に[illegible]節操であつた、浮川竹に身を沈めてゐる藝者でさへ、節操の前には生命まで投げ出すものだ。小田は最後に斯う云つた『僕は潔く

其の藤林高一

とか云ふ男に常子を讓ります、是は今迄愛してゐた妻に、對する僕の最も寬大なる處置だと信じます』松田の妻は斯う云つた『常子さんには贋かさしたのです、私だつて今の亭主は三度目です、若い中には間違ひのあるものです』此恥知らずな奴！小田は心の中に斯叫びは未練もありません、獨身で一家を持つてゐる事は不自由であると思ひます』

小田醫師は記者に語つた『私はもう全く諦めました、今は未練もありません、獨身で一家を持つてゐる事は不自由であると思ひます』

『私はもう一度小田の妻になりたい』

常子は顏を埋れて稍暫らく默してゐたが、聽て震へた聲で

記者は常子の決心を問ふた。『あなたは再び小田の妻になりたいか、それとも高一と夫婦になりたいか、又は新しい生涯に入る積りか、この三つの中何れの道を取りますか』

たのである。

×　×　×

小田家から信田家に送り返された常子の荷物一切は

十二月一日朝

席を蹴つて立つた。常子は悲しさ悔しさに袖神の袖を噛んでは裂いた。この結果

の不經濟でもありますから、近く家をたゝんで懇意な家の一室を借り、靜かに專心勉強する積りのです』

高一は公州から懺悔状を寄せたが、果して彼は

罪を悔い改め

たかは、浮薄な文字が羅列してある丈けでは信じられぬ。

×　×　×

語を寄す、滿天下の讀者諸君！常子の亂きは時代が齎める時形見なりや、將又現代の女性を代表するものなる歟、常子を斯くならしめたものは、家庭の罪乎、周圍の罪乎、將又敎育の罪歟

戀は惡の芽で

ある。最初それと感づいた時、われと自ら刈り取らねば軈ては自分を覆へされる。之に戀の火は人を焼かなければ必らず自分を焼くものである。（をはり）

○井上氏送別謠曲會　高田商會京城支店長井上氏今回大阪支店へ轉勤不日出發に付京城謠曲界各流有志發起の下に十二日午後一時半より龍山鐵道倶樂部に於て送別謠曲會開催の由當日の番組左の如し

▲素謠　俊寬（弱法師、安宅（寶生流）當日一般抽籤

▲一調　八島、井上、渡部

▲囃子　葦刈（觀世）金、金夫人、井上、花月（寶生）惟非、奥山、金、鉢怪山（寶生）渡部、日野、金、玉葛（喜多）夫人組）村尾、渡部夫人、井上、忠則（觀世）金、木本夫人、井上、湯谷（喜多）村尾村尾夫人、井上、田村（喜多）宮原、古城夫人、金、鉢木（觀世）山中、日野夫人、金、胡蝶（寶生）渡部、上田夫人、宮原、井上、唐船（寶生夫人組）渡部、井上、金夫人、金、羽衣連調

○岩永氏令孃葬儀　西大門監獄敎務所敎務主任岩永法寶氏長女昌子（十四）は去る三日死亡葬儀は十日午後四時半南山本願寺別院にて行はれたり

百三十九名

加州から逐はれた

南米より歸航の途中加州ロスアンゼルスに寄港して在米日本人の歸還者百三十四名を收容して五日横濱港に歸着

[illegible]に依れば現在日本人の所有せる土地は本年限り消滅し又從來の如き借地權は全然なくなつたので在留日本人に取つては非常[illegible]

し愈同法が實施されるとになれば加州の同胞は殆ど日本に引揚るの外途がない[illegible]

新聞宣傳

を行ひ中央政府まで上申したけれども全然無[illegible]

恐日病か

[illegible]居る爲に一部米人間に[illegible]

婚約の破談を悲しんで

江[illegible]を距る北約一丁の場所に於て年若き内地人婦人が[illegible]したるが原因は今春新義州材木商小田某と婚約なりたるも破談となり且つ同女の父は[illegible]

連絡船上陸客

十九日夜入港昌慶丸[illegible]十九名、三等二百二十名

一等（四名）荒井初太郎、[illegible]

一等十九名、外人一名、二等十九名、三等八十一名

好評……全部賣切れの處新荷着

京城日報社長　加藤房藏著

朝鮮騷擾の眞相

○定價金壹圓五拾錢　○郵税六錢

（目次）序言○相互の不諒解○朝鮮人の無理解○民族的觀念の活動○民族自決の説○親族關係○賴米思想○第三者の觀察○所謂武斷と文治○眞正の自覺○實力養成○政治熱○宣敎師に囑す○内地から見た朝鮮○新政と朝鮮人○提携扶持○朝鮮人の將來○結論

發賣所　東京神田神保町　東京堂　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

緩衝機（投書歡迎）

建築法規の發布を促す

中村建築事務所　岩崎徳松

◎多年の懸案であつた漢江通り新市街土地拂下げも殆んど終了したので近々此處に數百軒の店舗及住宅が建設さるゝ事になつたが此れが實現の曉は茲年來喧囂き極めた家屋拂底の部も大いに緩和され尚京城繁華の上に於ても大なる效果があるだらうと思ふ、然らば茲に建設すべき建物を如何なる種類のものであるべきか、如何なる形式のものにすべきかは當局者の意見を伺ひたいものである

◎社會の趨勢に從ひ四五年前より絶叫されつゝありし内地の都市計畫問題も機熟し時來りて既に六大都市に對しては建物法規即ち建築施行令が發布され又其の建築監督官なるものも任命されて各々と進めつゝある有様である、然して此の京城市を顧るに幸ひなるか此の進運の波は當市にも流れ來り過日來大京城建設の聲を聞き尚今回新任の府協議委員に於て此の都市問題の聲が大いに絶叫せられたる共に京城市の爲のみならず一面に於ては外國に對する新日本帝國の都市としての使命を全うせしむる所論なれば國家の爲めにも喜ぶべき事と思ふ、然しながら此の問題たる實に國家百年の計畫を立つべきものにして多大の犧牲と尚莫大の經費を要するは論を待たざる次第である

◎今静かに此の京城市を顧るに共計の下に認可を與へらるゝ事と思ふが一應其の當局者の意見を伺ひたいものである

て如何、彼の東京、大阪其他四大都市の如き大々的に幾多の犧牲を拂ひ得るや否や甚だあやしまざるを得ない、然るに今茲に開放されし此廣大なる土地に數百軒の家屋を建設せんとするの好期に遭遇したれば先づ此の計畫の第一步として最近市街されし内地の建物施行令が暫定的に茲に當京城市に於ける建物法規を調作し又共に權威ある建築監督官を任命し然して此れが取締りを嚴にし尚既設建物の改築修繕等に於ても或は市街の整頓を定めて之を適用する事とし、その方針の下に漸次建築物の整理を行ふべき京城都市を形作る上に於て一般の得たる者であるまいか

◎再び繰り返すが建築法規の發布は刻下の急務、思考するものである今漢江通り新市街に數百軒の家屋の新設を聞き愚見を述べ市民の輿論に訴へんとするものである

優等清酒

本莊酒店　城永樂町二丁目　電話六五四番
本莊支店　仁川京町　電話一一六番
本莊支店　安東縣大和橋通　電話一一七番

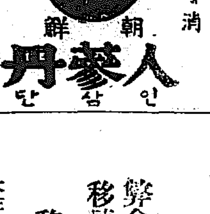
眼科專門　金井眼科醫院

京城若草町（總督府通り若草町新道路中程）電一五五六

◎入院隨意　◎日曜祭日診察午前中

懷中常備之良劑　消化壽消

心神爽快　香味佳良



朝鮮人參丹　인삼단

京城黄金町三丁目　製造本部　東洋製藥株式會社

資本金六百萬圓（明治三十八年設立）

當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城府南大門通一丁目十四番地

株式會社　漢城銀行

頭取　男爵　李[illegible]
專務取締役　[illegible]
支配人　[illegible]

電話長[illegible]　振替口座京城二〇一一番

支店所在地　水原、平壤、大田、開城、南大門、東京、東大門、大邱

出張所所在地　東萊、平壤大和町、西大門

移轉廣告

弊會儀左記へ新築中の處今般落成候に付き移轉仕候間此段謹告候也

大正九年十二月十日

移轉先　牛込區神樂町一丁目一番地　市電逢坂下・省電牛込驛下車

オキシヘーラー獎勵會

電話番町特長三〇七番・四六八九番（從前通）

別珍の特長が無くては御氣の毒です

此商標と甲勲印に御注意願升

（特約販賣御希望の方御照會を乞ふ）

色合十餘種あり　見本一足二十錢要す

東京日本橋區本銀町四　㊉松井良輔商店　電話本局二八二八番　振替東京三五〇〇〇番

鎮静催眠劑カルモチン

本劑は既に神經性疾患の治療劑として知られたるブローム及纈草の合理的化合体にして、殆ど無味無臭服用容易、些の副作用後作用を示さゞる神經疾患殊に、神經衰弱、ヒステリー並に神經性不眠に對する優秀治療劑なり。

（本劑の藥物學的實驗は東京醫科大學精神病學敎室醫學士佐藤恒一氏に依つて詳細に實驗せられ、醫學博士山田鐵藏氏醫學博士荒井恒雄氏醫學博士矢尾板四郎氏外多數醫家の臨床實驗報告を有す）

本劑は又小兒夜驚症、神經性頭痛、癲癇、船醉豫防、肺結核患者の興奮不眠等に對し奏效す。

二十五瓦入　十瓦入　十五錠入　五十錠入（全國知名藥店に販賣す）

發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衛商店

五日横濱に入港 杉野ドクトル語る

パナマ丸 は横濱に入港したるが船客中の杉野ドクトルは語る『今回議決された排日法……打撃であるロスアンゼルス市を中心に南加州在住の同胞は

前途を悲觀して居る

……大山領事が在住日本人を激勵……日法案反對の運動を爲せりと……日本人が近來成功して……を造り白人と伍して活動……り出したり又は市民權を獲得……

細民に『心の糧』

御馳走澤山のお膳立 内務省の教化事業

内務省は嚮に全國各府縣理事官市長其の他合せて二百十五名を本省に招致し都市社會事業に關し前後三日間に亘りて是が打合を開催し以て時勢に適合する諸施設を決定したるが中重要事項の一項たる細民教化事業に就て其の内容を示せば

一、倶樂部組成（兒童青年、婦女）
二、講演會討論會演說會の開催
三、活動寫眞會幻燈會音樂會開催
四、運動會旅行魚釣等の開始
五、圖書館及び圖書室の設置
六、博物館及び各種展覽會開催
七、音樂室設置
八、職業教育を施行する夜學校の開設
九、夏季學校の開設
十、夏季轉地旅行
十一、運動場（室の内外娛樂室設置）
十二、簡易食堂理髮所簡易診察所託兒所の設置等なり（東京電報）

内地朝鮮滿洲にかけて 巧みに詐欺横領

二萬餘圓を胡魔化す

島富三事松尾市郎（三）は主家の買掛代金二萬一千七百六十九圓六十四錢と云ふ巨額を僅か二年間九回に亘り詐欺横領し其筋に捕はれた時には一文なしに消費してゐた同人は八日京城地方法院に於て豫審決定公判に移されたが

事の顛末

を聞くに市郎は大阪生れで大正八年八月頃大阪市北區中之島二丁目能美得造方に被雇中得意先の兵庫縣武庫郡御影町西垣某方で石炭買掛代金三百圓を受取横領費消したるを手始めに此金額を持つて朝鮮に高飛びし來り同年九月十六七日頃から京城南米倉町八八齋藤久太郎方に何に

知らぬ顔

して雇はれ帳簿整理其の保管等の事務に從事し同年十二月三十日齋藤方に於て小切手に所用文字を記入すべく他店員より小切手用紙綴帳の交付を受けたるを幸ひに該綴帳の中間から竊に小切手用紙を拔き取り九年一月十三日雇主方主任店員石松國藏より

聖上陛下 御避寒

廿日頃葉山へ

大皇陛下には御避寒の爲來る二十日頃を以て葉山御用邸に行幸在らせらるべき皇后陛下にも御同列にて行啓相成るべき由に て新年の諸儀式次第に付ては宮内省當局にて協議中なるが近日中に決定すべく儀式の次第に依り夫々皇太子殿下御名代さし御舉行又は御取止めあらせらるならんと洩れ承はる（東京電報）

華客先なる黄金町一丁目不二興業會社に對する米穀掛代金七千二百六十一圓四十四錢の徵收方依頼を受け同社専務取締役代理澤村九平名義京城十八銀行支店宛前記額面の當座小切手一葉の交付を受け首尾よく横領し又小切手用紙に被告自らペンを使用し額面

一萬一千圓の振出日

付を十三日と記入して其の僞造を完成し朝鮮銀行に赴き窓口當時被告の假稱し居たる目的を遂げたる後中途にて驅取の目的を遂げた儀中して奉天に逃走し同地を經て福岡市に赴き同市中本年三月二十一日より五日迄の間に於て同市東中五丁目百三十五番地料理

後藤利七

方で、金十四圓の豪遊を爲し未拂六十四圓三十錢ありし處豫て右料理店を營み居る同料亭の仲居川端シカと利を博し歸國の途にある伏せ右代金を踏倒し又た十日より五月十九日迄の市水茶屋待合業吉永華……

筑紫ツ子

方に於て百八十四圓九十九錢の遊興をし未拂金二百五十一圓九十……を巧に同亭女將を欺罔し縣筑紫郡千代町四階…方に入院中の岡部武雄とヤモンド入指輪二百圓相詐取し其足で

東京方面

に逃走し青島に赴き同所より大連上陸せるが去る八月三十吉野町一丁目旅館業春明に投宿し同市浪花町二丁目……閣商平田包定方よりダイヤモンド入白金指環一個千九百……額を電話旅館にて持參させ……

檢擧の手更に伸びん

東京市の疑獄擴大す

東京地方裁判所檢事局にては道路問題一段落と共に瓦斯其の他……の取調べは尙本月中には終了し難かるべく隨つて豫審の終結は來春二月頃にて公判は三月頃となるべしと（東京電報）

……詐取横領取等頗る巧妙に捲上げたものである

長白縣方面の被害調査（二）

既報頭目長好江の率ゐる馬賊の爲長白縣十九、二十、二十一道溝方面に於ける被害狀況は精査の如し

▲人死亡一、負傷なし▲支那人死亡二〇、負傷八▲朝鮮人死亡二〇、負傷二▲燒失家屋內地人二〇朝鮮人二〇

尙掠奪されたる牛馬、穀類其他の物品は内支鮮人を合して約三萬圓なり

探中なるが當時襲撃せる現金百四十圓を奪取され居るより察するに或は强盜の所爲ならんかとのことなり（平壌）

京城の初雪

盗電者が多いので 京電も困つて居る

近來急に盗電が殖ねた 電球調査もして居る

いつも年の暮が迫つて來ると、先づ年の瀨も迫つて來る、夜の長々しい事と本町通臨需要家で增燈をする自然配電キロワット數も增加する　ここであるそも從來一千臺のキロワットに昇ると云ふ事な平電機迄が慣慨した譯

不可解な數字

を現はしにして不思議な事實まさか市民の……其の他に此の不思議な謎のはない、日く或る一義な市民が盜用するこ理由がなければならぬいこそすればそこに時候も時候冬の夜の

電氣炬燵

を使用するもの少くないらしい、こ達は自家に十燭の電燈を炬燵に使用する時は球と取換へるので從値にこれを說明するらにも盜用者が決して妙は事實らしく

京電側で

は其間の疑問頭を惱ましてゐるそこで各方面に亘り注に歩いてゐると云ふ思ひ當る人は注意が肝要である

鐵槌で毆り殺す

强盗の所爲か 犯人逃走

山縣郡安大郡小野田町七百八十番地小野田セメント會社平安南道大同郡工場に仲田某（三）なる者は九日午前〇時十分同工場内にて修理事務に從事中何者かに鐵槌を以て打碎かれ撲殺されたる筋にては目下犯人嚴探中

電車の運轉系統變更

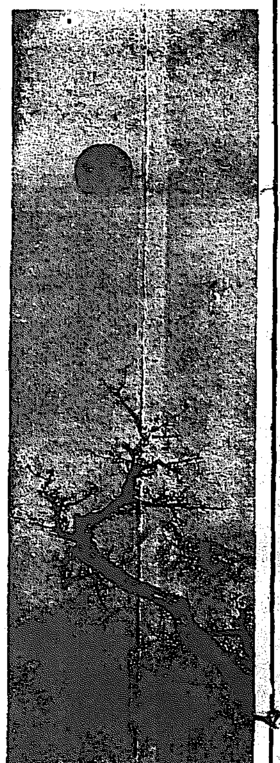
便利になつた

愈々昨十日から京電の電車運轉系統が變更されることとなつた從來の光熙門を發する電車は義州通りの一直線であつたが今日からは光熙門より直通で南大門驛前に行く電車も運轉され東大門よりは義州通を經て南大門ステーション前行きと新龍山行きが一般の爲め時間の經濟と換替の面倒が無くなつたので極めて都合がよくなつた譯だ

流氷多し

昨今の漢江

全部結氷は二十日過ぎ本年は冬期に入ても小春日和續き一般に暖氣なりし爲め龍山總督官邸前及び軍司令部前の池は十二月に入りても結氷を見ざりしが七日以來嚴寒の爲め八日より全く結氷し自然の嬉々として漢江左岸は昨今漸く流氷を見り漢江左岸は……スケチングコートをなし學童は嬉々としてスケートに樂み居れるに至りたるも未だ結氷を見るに至らず例年に比し峻烈なりし昨今さへ十二月二十三日を以て全く結氷したる程なれば本年漢江の結氷も二十日過ぎなるべしと觀測さる



山水　今尾景年氏作

情の裏表

不義の黑白

出刄庖丁を突き立て

淚の百圓を强請る

妻の不義をダシにして

十一月十一日黄金町四の三〇中馬三郎方に同町地魚商堤政吉が押し掛け登に出刄庖丁を突き差し尻を捲つて馬三郎を脅かし百圓を卷上げた事を本町署長、石川兩刑事が探知同署に引致し十日檢事局に送つたが事件は斯うである馬三郎は本年正月頃妻に死に別れて以來三人の小供を育て乍ら自轉車タイヤ修繕をなして佗しく暮して居た同じ長屋共棲まひで馬三郎の家庭に同情したる堤政吉內緣の妻トカは馬三郎の小供を入浴に伴れ行き或は著物の洗濯等何くれとなく世話して居たが十月廿六日午後三時頃馬三郎の長男章（九）は自宅前で無慘にも電車に轢殺され貧しい家に依に打續く不幸に馬三郎は淚さへ出なかつた其時政吉は

近所の誼みで

電車課と折衝した二百八十圓の吊慰金を得たので馬三郎は伏拜んで其好意を謝した馬三郎は小供がトカに世話になる處から某日夜黄金町四丁目蕎麥屋萬盛庵にトカを招いて馳走した後に至つて此事を知つた政吉は大にヤキ出しトカを捕へて打擲し馬三郎と情交したに相違ないと詰問したがトカは

無いと答へる

のみであつた

それでは納まらぬ政吉はトカを引連れ馬三郎方に至り『自分の妻に情交するは不都合だ妻を內地に歸すから五百圓出せ』と文句を並べ出刄庖丁を突き差して恐喝、た側に居た馬三郎の小供はオロくし乍ら父に縋つて

『父樣金で濟む

なら御出なさい』と云はれたので馬三郎は子供の愛に引されて百圓を差出したその金を懷に捻ぢ込んだ政吉は更に證文を出せと云ふので馬三郎は『政吉が不慮の難題を吹き掛け脅迫した百圓はトカ聽園の爲めに提出する意味の證書を與へたが政吉は文盲で之さへ有ればと喜んだが該證書は政吉の爲めには却つて不利な證據品となつた、政吉は

弔慰金を受け

た時から夫に目を付け騙取せんと企て居る矢先トカが萬盛庵に招待された事を口實として斯の如く脅迫騙取したのである

龍山米商斬りの 有力な嫌疑者

二名本町署に逮捕さる

南山に巢ふ怪漢 二人共內地人

十月廿六日龍山元町米穀商野崎松次郎を斬つて逃走した犯人は四十日を經過する今日まで杳として判明しなかつたが各署共搜查の爲めに寢食を忘れて居た結果八日本町署石川鄕兩刑事は黄金町で一人の內地人を嫌疑者として引致した然るに某は右手の甲に負傷し居る處からテッキリ龍山米商斬と目星を付けて訊問したところ紛れもなき拳銃丸が殘つて居たそは三坂通で龍山刑事を突飛ばして逃走する際金刑事が一發放つた銃丸であつた此奴は前科數犯を有する惡漢加藤原田一郎は七日竊盜現行犯を本町某所派出所巡査が引致した彼等は南山の南端に巢窟を構へ龍山の犯行後も巧に姿を晦まし市内各所を荒した形跡があるので本町署では嚴重取調中であるが

主催者側の

帝國美術協會では先づ陳列の作品數十點を昨日本社苑に送り來つた、其の內の重なるものは木島櫻谷、上村松園、田中柏陰、山田介堂、今尾景年、小村大雲、石井金陵等京阪大家の筆になるもので、目下大阪に歸つて作品整理中の協會專務東村日出男氏

最近書きの

ものであると同時に飽まで純粹日本畫の風韻を發揮して居る事は、同會の誇であり又た其の全生命であらねばならぬ斯うした

三都畫伯の 日本畫展覽會

十八十九二十の三日間 本社來青閣にて開催

冬枯の京城美術界に時ならぬ丹青の花を彩るべく來る十八、十九、二十の三日間本社樓上來青閣に於て三都畫伯の最近作品展覽會を開催する由は既報の通りであるが

作品二百餘點

は來る十五日更に東京及び京阪大家の作品を携へて入城する筈だ今回陳列の作品は全部尺八尺五の入念作で別に新年用掛軸として誰もが歡迎するであらう京阪大家の筆半折紙本百餘點を陳列する、之等の作品がすべて

修養團向上會

毎月十一日は修養團の向上日にて正式の爲め全力を捧ぐべき同志五萬餘が全國各地にて一齊に主義宣揚の上に一大發展をなすべき最も有意義の日につき京城支部にても今十一日午後七時より府內櫻井小學校に於て向上會を開き修養に關する各自の感想並に平壤及び光州地方宣傳狀況等につき懇話ある由聞員は勿論一般多數來會を希望すと

……司法に動かすべからざる證據品多數を押收して居る

三都大家の

作品を一堂に蒐めて研紫彩紅を競ふ風情こそ春に先んじて春先づ來るの情趣を湛へて定めし觀る人の心を目を欣ばすことであらう

十八日は下見

十九二十の兩日を以て一般觀覽日とし、作品はすべて即賣する

京城の初雪

昨年から二十日間遲い

七日から急變した氣溫は遂に防寒具を用意せしめたが十日午前八時十二分からチラくと雪が降り出し始めて銀世界を現出せしめた京城測候所に聞けば『午前六時最低溫度零下九度一分であつたが午前十時には零下三度になつた昨年の十一月二十日の初雪に比すれば二十日も遲れて居る』

平壤の初雪

昨年より十五日遲ひ

平壤地方にては十日拂曉より降雪ありたるが是今年の初雪にして平年に比し二十三日、昨年に比し十五日遲し（平壤電報）

犯人判明

大阪の首無女慘殺事件

大阪市外鶴江六反池の胴のみの女の慘殺屍體があつたことは既報したが其犯人に就いては極力其筋で調査に努めた結果九日午後二時に至り被害者は木全リエ（三）犯人は同人の情夫佐藤某であることが判明したけれども目下行方不明である爲に同人の所在を嚴重に搜索中である（大阪特電）

洪範圖豪語す

捲土重來せんと

不逞鮮人の首領洪範圖は安圖和龍縣界地方森林中に潜伏中であつたが十一月末に至り部下約四百名を率ゐる露國沿海州江方面に逃走し自ら豪語して捲土重來すべしと云ひたる流說盛んなり（臨源發電）

薩摩琵琶會

錦心流薩摩琵琶淸水會では十一日午後六時から旅館に於て松井淸水氏の皆傳披露演奏會を催す由演奏曲目左の如し

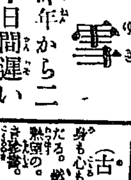
▲月下の陣（淸花）▲本能寺（淸月）▲河內の宿（淸風淸水）▲城山（淸光）▲常陸丸（淸流）▲俊寬（道水）▲龍の口（吉村櫻水）▲松の間（城徵水）▲雨中鶚（城跡徵）▲威海衛（脇切氏）▲尼港の嵐（石倉丸）（松井淸水）▲筑前琵琶應援（筑前川）（淸木旭昌）▲鵯越（盛）（高岡旭暫）▲屋島（水波旭子）

▼嘉永版 浮世繪 島原 戀の渡

▲柏厲畫人秘版 粹人雅士も眞さに男女が。ア、彼の密事で有名な畫工かと御察しの粹畫工。現ず情の天輿の綾を。人知れず密事。しかも密書入と。唯りホク〳〵と樂むには之に限る。（古代版）（密書入）一色香縷めた密より甘い囁きは。若い男女の血汐を湧き立たせ。濃艶な初戀は。身も心も恍惚と。紅雀交りに描いたる。燃ゆる戀の若い男女が內心の熱願の。他で見た事のない秘籍の想に惚れぐく 心行まで御樂しみあれ？……

粹珍美人實物寫眞百枚壹組同封無代進呈 四六版クロース金文字入豪華本●送料共金一圓八十錢●ハガキで密送（ウネ）送れ●申込は代金引換貳割增で密送急送す●切手代用一割增

東京市神田區表神保町六 江戸時代 風俗研究會 振替口座東京四二〇九八番



法人登記公告

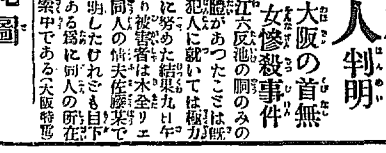
伊川金融組合登記事項中變更事項左ノ如シ 一、事務所 大正九年拾壹月貳拾八日移轉ニ因リ住所ヲ江原道伊川郡伊川面泉岸里參百六拾五番地ニ變更セリ

右大正九年拾貳月參日登記 京城地方法院伊川出張所

サミエル 金指輪 今回限り無代進呈（賞讃禮狀數百）

美を好むは人情也此に新發明のサミエル金は鐵金燒付金張等に非ず地金は先天的十八金へ……の色彩を四（同）ち何十年使用するも色少しも消失せぬ理想的の金指輪にして代用品に最も相應しき品なり一般紳士淑女間に好評を呈せられ（賞切）すべき品なり

平丸形彫刻付指輪 角打形彫刻付指輪 ハート形指輪 特價一個貳圓五拾錢 均一 七拾錢 本紙切拔送料……



無代進呈 先着順壹千名限り何なりとも一個御買上の方に壹個づ、進呈す此コンナ破天荒の好機を逸せざる……在品に限りあり……

東京市下谷區龍泉寺町二三二 賣元 大岩柴山商店 振替東京四六九五六番

朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行 京城南大門外 白神洋行支店

新式耐水調革 新田帶革 新式ハラタ調帶

大阪 新田 帶革 製造所

日本綿花株式會社 第五拾六期決算公告

貸借對照表（資產之部）自大正九年四月一日 至大正九年九月三十日

未拂込株金	……
地所建物	……
機械器具	……
有價證券	……
付託品	……
買入先附託品	……
未着品	……
受取手形	……
銀行預金	……
請求手形	……
支店	……
假拂金	……
信認金	……
工場用品	……
未經過火災保險料	……
現金在高	……
合計	……

（負債之部）株金、準備積立金、別段積立金、退職手當積立金、配當準備積立金、社員保證積立金、勞働者配當金、未拂株主配當金、預り金及引受手形、未拂諸掛、引受手形、借入金、假受金、前期繰越金、當期利益金、合計

利益金處分案

當期利益金、前期繰越金、合計、內 役員賞與金、配當金（年貳割）、新一株ニ付金五圓五拾錢、舊一株ニ付金……、特別配當金（年貳割）、舊一株ニ付金……、新一株ニ付金……、後期繰越金

右之通ニ御座候也

大正九年十二月六日 日本綿花株式會社

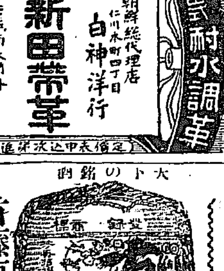
取締役社長 喜多又藏 副社長 山田穆 取締役 末吉勘四郎 同 志方貞三郎 同 大岡破魔三郎 同 中村利九郎 同 今村權次郎 同 楠本吉太郎 同 安井豊太郎 監查役 南鄉三郎 同 竹尾治右衞門 同 馬場義興 相談役 志方勢七

前記ノ各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ承認候也

大正九年十二月六日定時株主總會ニ於テ監查役竝名增員選擧ノ結果中村錠太郎當選セリ

博多取引所仲買人 首藤定商店 電話長 二四一、二二一、二八番

大下の銘酒



發賣元 首藤京城支店 電話一一七二番 首藤釜山支店 電話二四三番 首藤博多支店 電話貳八八番

慶安太平記

第三八席 小金井芦洲講演

ヒョイと村上新吾が振向くと途端計らんや民部之助が太刀の鯉口切つて放ち、新吾目蒐けて斬つて來たのであるから『新、小僧生ッ、夫はお話が違うぢやあませぬか、貴公は娘のお重ごのを連れて來て下さる筈で、私は首尾能う殺つて仕舞ひましたから、何うか冗談をなさらずにどうかお重ごのをお渡し下さらぬか』と云ふ奴を構はず『正『エイッ』と斬り下す、言葉で刄は受られませぬ是非なく村上新吾後へ下つて民部之助の一刀を受やうとしたんだが、何うして却々村上風情などの腕前では民部之助に及ばない、此處に臨んでは受ける事も逃げる事も出來る

ものではない、肩先へ一刀を浴びせ掛られて『ウーン、扨ては民部之助汝は……』と何か聲を立てやうとする奴を言はせも果てず到頭斬倒して了ひましたところへ遅れて多くの內弟子

京城本町貳丁目
達田醫療器械舗
電話一八一九番 振替京城四〇二三番
醫療器目錄御申込次第進呈

が駈け付けたが、既に恩師、楠不傳先生は縡切れて仕舞、仇敵は若先生が取つたと云ふので一同は茫乎してゐる○『各々方、早く明火を御用意下さい』早速用意をして明火で能く見ると破門をされたる村上新吾である○『若先生、これは村上新吾ではございませぬか』正『エッ、村上新吾である、憎さも憎き村上新吾、受けたる恩を仇で返すとは獅子身中の蟲とも云ふべき奴、汝は恩師の許に長く在り、お娘御のお重ごのを、甘言にて誘ひ不義密通をいたしたる段先生のお慈りやうに依つては討

まで此時は正雪を褒めたんで、大變に正雪は人氣を揚げた、で楠不傳の屍骸は檢視が濟むと道場へ引取る、村上新吾の屍骸も捨ては置けませぬから、これは兄が不首尾ながら引取つて仕舞ふ。楠の家では弔ひも立派にいたし、市ケ谷谷町の双願院といふお寺へ葬、家さまからのお手當もあり門弟一同で葬りました、すると民部之助正雪は恩師が無殘の横死を遂げられたに第一番に駈付けて師の仇討をいたしたと云ふので町奉行からお褒めの言葉にまで預かる事になりました。

首に相成つても然るべきを、破門にて許されしをその御高恩を忘却し己を顧みずして却つて恩師を怨んで斯樣なる事をいたす憎みても猶餘りある奴…恐れながらお師匠樣に申上げます、この御亡命嘸かし御無念でございませうが民部之助正雪第一番に駈付けましてお怨みの程を晴らしました、恩師に對しまして刄を向けましたのは村上新吾と申す獅子身中の蟲でございます、何卒御成佛なし下されたく門弟一同も控へて居りますればお心安く遊ばしまして……』後は暗涙にまぎらして仕舞つた、傍で見て居りました一同の門人は、皆一緒に正雪の働きを大

に感心いたしたが、扨て恩師の御不幸に就てはモウ涙に暮るゝばかり、で直ぐにこの事を神樂坂坪井良洲の所へ知らせてやる娘御のお重ごのも來れば又御家內のお高ごのも後れて駈付けて來まして、一同が寄つて早速御檢視を願ひます、事柄は能く分つて居る、娘のお重ごのと密通をいたしたところから破門をされ、それを怨恨に思つて不傳の出先を付覘ひ打果したのである

河原寫眞館
電話二九八一番

その又先生の仇を民部之助が現場で討つたと言ふだけの事で、明瞭なんですから檢視は譯なく片付く誰一人として民部之助の策略が甘く當つたなどと云ふ事は分りませぬ、だから民部之助の評判の好い事、針程の事を棒程に傳へるのはこれは人情の常で、これまでこうも餘り評が好くなかつた、御家內のお高さん

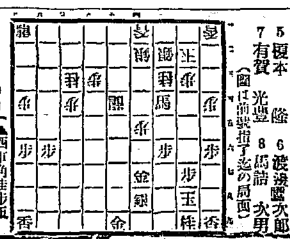
聯將棋(完)

於京城旭町白水棋會 忘年將棋會席上

△東軍先
1 高橋章之助
3 天日常次郎
5 榎本隆
7 有賀光豐

▲西軍
2 淸呂木六段
4 櫻井秀專
6 渡邊留次郎
8 馬詰次男

(圖は前號指了迄の局面)



持駒 ▲西軍角桂歩五 △東軍歩歩金金銀

△四四歩1 ▲五五角2 △三七金打3 ▲四四角4 △五一銀5 ▲二五桂6 △四四馬7 ▲三七桂8 △同金1 ▲四四龍2 △四一銀ナラズ3 ▲同銀4 △同龍5 ▲三一金6 ▲二六香7 ▲四一金8 △二三香ナル1 ▲同玉2 △三五桂3 ▲三四玉4 △二三角5 ▲二四玉6 △三四金7迄にて東軍の勝

淸呂木六段講評
△7二六香打頭き良手なり
▲4三四玉は惡し二四玉も逃げれば未だ防禦の方法もありたりき

徽皮科
(診察夜九時迄)
皮膚病 徽毒病 痳病 (入院隨意)
京城明治町二丁目 佐藤醫院 電話一一七三番

産婦人科
京城壽町電話二一二〇番
醫學士 二宮醫院

十二月十二日 (舊曆十一月三日)

▲日曜日▲甲辰▲二黑▲暗劍未申▲先勝▲虚宿▲定

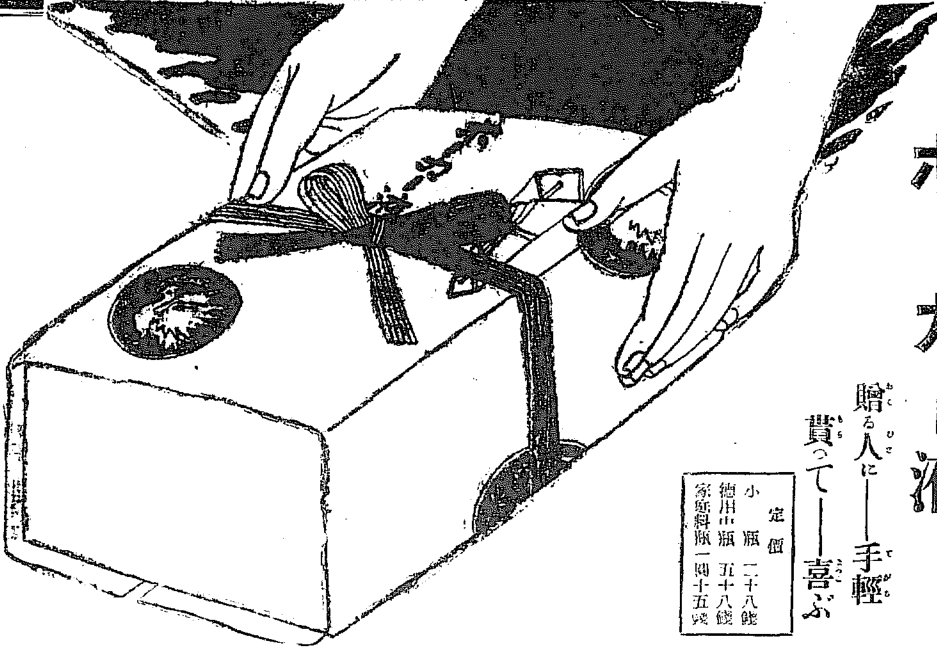
▼二黑▲僅の過失も福德離れたる因となる、新事控へにして吉
▼三碧▲複雜な問題を持込まれ易く約束事整はぬがち新事は凶
▼四綠▲行詰まり生ずる事あり諸事は利なるも新事喰ひ違ひ多し
▼五黃▲向上發展の日なるも急いては失敗を招く衛生旅行用心
▼六白▲信用を增すの日起業開店求職は素より金談婚約等亦吉
▼七赤▲內に和を保ち外に大發展の日元氣を出して進むに有利
▼八白▲瞬に落ちざる事あり油斷すれば大なる破れを來す用心
▼九紫▲午前概ね注意午後吉しく活躍の日新事業の計畫有望
▼一白▲諸事弱まり惡くさも不平不足は言はまじき日常事は吉

經濟研究會

創立委員會

珍らしい暖氣

ペスト患者



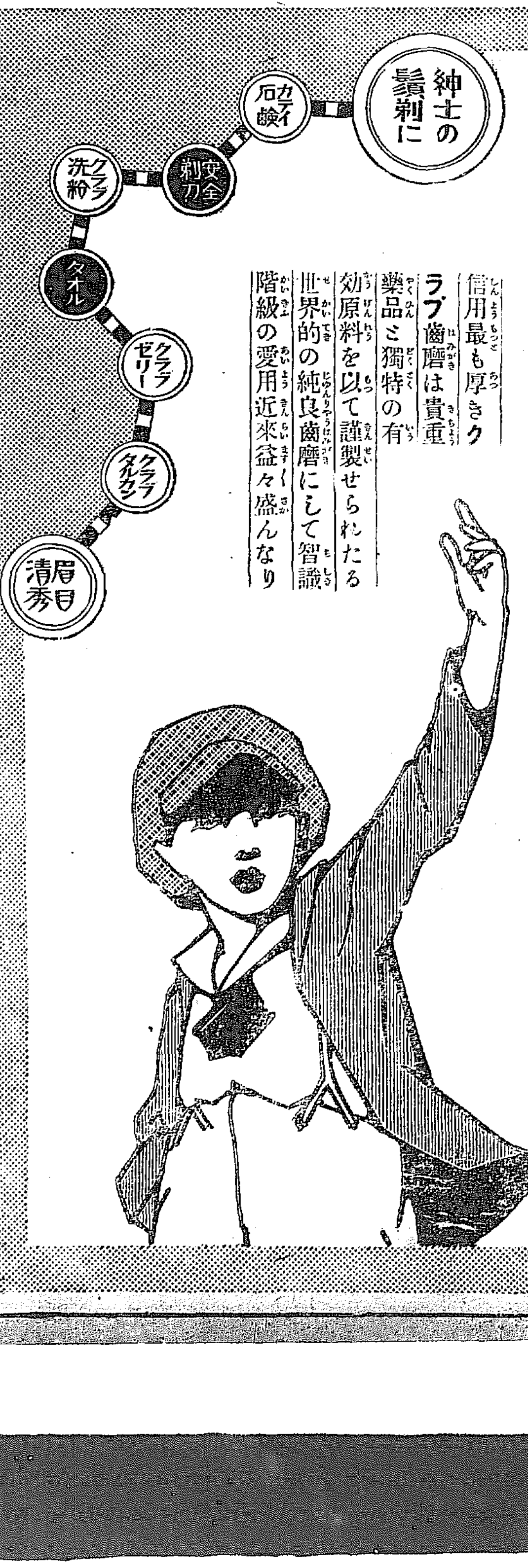
お歳暮降誕祭(クリスマス)
お年玉——の
贈答品
として一番良い
ホーカー液
贈る人に——手輕
貰つて——喜ぶ
(定價) 小瓶 二十八錢 徳用中瓶 五十八錢 家庭料瓶 一圓十五錢

冬の御家庭に
なくてならぬ化粧料
ホーカー液は世から皆さんが冒される肌アレを防ぐに、卓越した效果があるので、お年寄から子供衆まで誰人も、離されぬ良品です、是非家庭に一瓶備へておかねばなりません、

進物御箱入案內
一號六種詰合金 參圓
二號五種詰合金一圓五十錢
三號四種詰合金一圓九十錢
四號四種詰合金一圓三十錢
何れも改正せる最も優美高價の箱入
全國到る處の小間物化粧品店にあり品切の節は振替か三錢切手にて直接本舖へ御注文を乞ふ
詰合箱に限り送費二十錢

ホーカー液ホーカー白粉ホーカークリーム白粉
ホーカーパツトホーカー美髮液ホーカーオナー本舖
東京・神田和泉橋
堀越嘉太郎商店
電話神田一四三、一四四、一四五
振替東京一五六

世界的の
クラブ齒磨



信用最も厚きクラブ齒磨は貴重藥品と獨特の有効原料を以て謹製せられたる世界的の純良齒磨にして智識階級の愛用近來益々盛んなり

學理上—實驗上
一番齒の爲めに
良いクラブ齒磨

最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

流感豫防

良藥にして口に甘き
たんせきよ志
淺田飴

熱があり咳が出て心地惡しき人
今直ぐ召せ!
おも湯や牛乳の代用として最もよき滋養劑
からだを溫め聲をよくす
定價 二十錢 三十錢 五十錢 一圓 二圓
本舖 東京 大阪 小樽 門司 堀內伊太郎

流經新藥レスソリン
月經
閉止四五ケ月以內に確實に流經作用を以て容易く懸かる效力を有せり賴藥價一瓶貳圓五拾錢送料四拾五錢切手添申越星一制增說明書
大阪北區曾根崎上二丁目三六地 常盤藥院 振阪三二一三番

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町壹丁目 電話二一〇二番

資本金 五千萬圓
積立金 貳千五百萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城府本町二丁目
電話一八一番、六二一番、二八五番 振替貯金京城一二一七番
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎

セミヨノフ將軍所有の露國留銀貨百五十貫宇品に陸揚

日本に亡命の準備か

を日本に送り來りしは不日日本に亡命する準備なるらしと（廣島發電）

横濱生絲不振

生絲市場は過日來期米の崩落及び綿絲の不況にカテヽ加へて株式市場の軟調に銀行等に取付に遭ひて一般に金融梗塞され昨今殆んど無商ひの閑散に陷り前途は樂觀を許さず九日の市場は遂に第二回買收に著手したるも前途の標準値段を突破し百五十圓以下の氣配を示して無商ひに終りたるが市場の趨向は到底見込みなきものの如し（横濱電報）

貯藏取付減少

支拂八百萬圓

東京貯藏銀行は昨六日は本店が十時迄各支店にては午後十二時迄支拂をなし其結果總額約八百萬圓の支拂をなしたるが本日の取付額は昨日に比し減少し居れり尚本店にては折柄の降雪に大天幕を店前に設備して預金者を收容し居れり（東京電報）

工藤氏陳辯

工藤京城取引所營業課長は十日午後二時府尹を訪ひ九日の同所立會延刻の事由に就き逐一陳情したり

○日銀帳尻　八日現在左の如し　千圓單位

發行高	一二一五一、〇四三
正貨準備	一二一五、〇四三
發行餘力	一二〇、〇〇〇
貸出高	二一九、七一六

○鮮銀券日報　九日現在左の如し

發行高	一〇一、一七四、一六五
正貨準備	五二、八九二、九八三
保外發行	

○京阪金利　九日現在左の如し

	東京	大阪
コール無條件	一一〇	
翌日物	一〇〇	
六十日物	二〇〇	五、〇
普通歩合	二七〇	

黒眼鏡

京取の支配人は峯尾君を取締役として兼ねます事となつたらしい▲實銀は專務の豐田君と取締役の峯尾君の二頭政治であり乍ら豐田君の如きは專務であり乍ら務にセンス務があると云ふ現狀▲二頭政治打破の意味に於ても峯尾君を實銀より京取にとるのに實銀のために惡くなからう▲峯尾君としては天日君の下風に立つ事を少し考へたとか考へたらしいとか云ふがそれは問題でなからう▲社長專務を代表し當面に市場の實權を握つて行けるのであるから……▲又今日の天日君は昨年や一昨年の天日君と比し格段の進境だ▲峯尾君は少し理屈ぽいとか初めはツキのよくないやうに云ふ人もあるけれど▲人間は甘い酸いも知り貫るた苦勞人である▲古城君の一乾兒であるが古城君の後釜に京取に据るのも因縁だらう▲今一人の新取締役は色々世評も出てゐるが新進の人をとるらしいとも云ふ▲賀田直治君を推す人もあるが君は俄にウンと云ふまい▲賀田君ならば溫厚篤實で人物に申し分けはあるまいけれど……▲近藤仲買副組合長の廢業は君の人と成りより見て惜しまれてゐる▲仲買廳の紺川の模樣もあることこだ如何だらう

株式（保合）

九日前場立會

既報の如く九日前場は一部賣方の遲證不納より帳簿の整理付かず端なくも解合問題が惹起するに至り値段の協定其の他に小紛擾を釀し午後四時過ぎに至るも立會不可能なりしが僅かに二三圓方の變動に依り直ちに休會する如きは市場の面目に關する次第なりとて仲買人双互の讓歩と釘本天日の各重役並びに成瀬組合副組長等の調停宜しきを得て午後九時漸く前場を立會ふ運びとなり先づ釘本社長延刻の挨拶を爲し後場のみは止むなく臨時休會の旨を宣して直ちに立會に入れば二十五圓丁度と寄付き跡十錢あつて再び二十五圓と付け更にヂリ高の歩調に轉じて四十錢と伸び大引二十錢と小弛みて午後十時半打止めたり其他は電興六圓九十錢ご昂騰して三百枚許りの手合出來せるが右は平壤筋の注文に吉見買進みたる爲めなりき

十日前場保合

今前場は前日のゴタ〳〵にて將に沸騰せんとする出來を挫かれたる觀あり双方氣乘薄の姿にて場面の活氣乏しく從つて相場は自然保合ふの外なき狀態となり二十五圓三十錢と十錢高に寄付き赤跡櫻谷井口の買ひに四十錢と伸びしも高値は新田川崎等の利喰に押され結局三十錢と大引せり雜株は鮮銀新三十三圓九十錢殖銀四十四圓二十錢朝新十三圓五十錢等の商內あり尚ほ電興は前日の氣丈に似ず六圓四十錢と五十錢方挫けて乙部にて新東七十二圓五十錢の手合あり

後場依然たり

後場も相變らず不氣乘閑散にて二十五圓四十錢と寄付き跡二十錢を安値に歿して結局三十錢と大引したり雜株は殖新十二圓四十錢電興は再び持直して六十錢高を示し七圓十錢と出來せり尚ほ乙部にては安取十七圓京取端株二十五圓の商內あり

解合談解決

前日金龍の骨折りに依り端なくも賣方の弱點を暴露して遂に立會延期の止むなきに至れるが双方の協定に依り金龍の賣玉三千八百餘株の中二千百十枚は二十四圓にて又田中の賣玉三千九百株の中一千株は二十四圓五十錢にて双方歩み寄りの棒値を定め部分解合を爲すことに決し茲に全く前日の小紛擾は解決されたり

喰合玉減少

昨紙報道の一萬四千餘株の大喰合は仲買双互の申合ひに依り部分解合成立し更に新田吉見川崎等の買方主力が昨前場にて大口の利喰を偕したる爲め現在の喰合玉は九千枚臺に減少せり然れども一般的買氣は尙ほ衰へざるを以て新たなる賣買に依り更に漸増すべき形勢にあり

金秀の實彈

今回の大喰合に依り一部賣方が頗る苦戰に陷りたる中に獨り超然として綽々たる餘裕を存する賣方の驍將金潤秀の態度は市人注目の的となり

四千七百

の賣建に對し果して幾何の實彈を用意せりやさいふに就いて買方側は種々臆測を逞ふし或は半數ならん或は三分の一ならんと揣摩の噂を立て居れるが昨日既に二千株を提供せんとする彼は餘す處僅かに一千餘株となれる

尙ほ三千餘

の實株を川窓し居りて引縱きが之に對して買方針を取るもの如くされば金秀の態度は今後尙ほ注目に値すべし右の實彈は遂に長期思惑の目的を以て仕込みたる地方客筋の利喰物ならんかと噂せらる

京城現株市場出來値（十日）

銘柄		前場	後場
京取	寄	二五、三〇	二五、四〇
	引	二五、三〇	二五、三〇
殖新	寄		
	引		
東拓	寄		
	引		
拓新	寄		
	引		
東新	寄		
	引		
仁取	寄		
	引		
鮮銀	寄		
	引		
同新	寄	三三、九〇	
	引		
殖銀	寄	四四、二〇	
	引		
實銀	寄		
	引		

銘柄		前場	後場
商銀	寄		
	引		
同新	寄		
	引		
殖銀	寄		
	引		
同新	寄		
	引		
韓銀	寄		
	引		
東拓	寄		
	引		
鮮土	寄		
	引		
朝新	寄	一三、五〇	
	引		
瀛毛	寄		
	引		

銘柄		前場	後場
京電	寄		
	引		
同新	寄		
	引		
電興	寄	六、四〇	七、一〇
	引		
東紡	寄		
	引		
朝煙	寄		
	引		
朝郵	寄		
	引		
滿鐵	寄		
	引		
中鐵	寄		
	引		
滿鐵	寄		
	引		
同新	寄		
	引		

九日受渡高

株數一萬六百四十枚
代金二十六萬五百二十八圓十錢

九日の出來値

九日前場の出來値左の如し

京取　二十五圓、三十錢、十錢、四十錢、二十五圓、二十錢
電興　六圓九十錢
大新　六十圓
安取　十七圓十錢
出來高　甲　八千三百二十枚
　　　　乙　百二十六枚

證據金引上げ

相場の變動稍擴大の氣味あるより京取の委託證據金從來四圓なりしを十日前場より六圓に引上げられたり

代用價格改定

證券代用價格を左の如く改定したり
東亞五十圓▲同新二十三圓▲電興五圓▲實銀八圓▲京取二十圓▲安取十四圓

初相場豫想

懸賞募集

初立會（一月四日）
京取株　前場寄附値段並に大引値段
仁川期米　前場三月限一番公定値段

右豫想を募集す其條件左の如し

適中者　各題につき一名を限り金五圓宛を贈呈す適中者なき時は最も近き者をとり多數を出したる時は抽籤を以て定む

應募　は葉書一人一枚限りとす（但し兩題連記差支へなし）

一、締切は十二月廿五日（本社著分まで）
一、發表は大正十年一月七日
一、應募者は住所姓名を明記する事
一、宛名は京城日報社經濟部
一、條件に反する者はとらず

京城日報社經濟部

京取取組內容

八日後場より九日前場に亘る京取取組の內容左の如し

（賣方）池田二三〇▲洪一五〇▲吉見一六六〇▲金龍一二〇▲田中二〇▲塚野一〇〇▲大島五〇▲川崎二八〇▲井口一一〇▲新田一四〇▲三好一〇▲方五五〇▲金秀五三〇▲南一六▲中津留二一〇▲（買方）有田一〇〇▲池田五五〇▲非一五〇▲洪二五〇▲吉見二六〇▲金龍二五五〇▲高松四〇〇▲白中一〇▲大島一〇〇▲櫻谷七二〇▲田一〇▲川崎四二〇▲新田四二〇▲方四〇▲古閑三〇▲井口五五〇▲金秀一三〇▲中津留二五〇▲南四六〇▲福五〇

主要株步み値段

京取（前場）二五　三〇　四〇　三〇
京取（後場）二五、四〇　三〇　四〇　三〇
出來高　甲　三百十枚　乙　十枚
累計　甲　三萬九千三百九十枚　乙　一千二百七十四枚

上海株況

株式市場は閑散著なく依りて上取當月限り四十四兩二兩高日華紡績二十三兩半兩高紬糸九月組合百四十七兩二兩高對日信用六十七兩三兩高（上海電報）

紐育株況

株式市場は軍不勢さなりスチール株八十一弗一弗安アナコンダ銅株三十八弗一弗安也（紐育八日發電）

米棉市況

棉花市場は（一月限り十五仙七十二となり五十錢方低落を報ぜり（紐育八日發電）

印棉低落

印度棉相場はブローチ五月限り三百四十搭となり七十錢方低落せり（孟買電報）

株式賣買

◇◇定期賣買を好まるゝ御方も◇◇現物賣買を好まるゝ御方も京城株式取引市場の今回改正せられたる受渡期間の延長は至極御便利の事ご存ます何卒益に倍し充分當店を御利用御下命の程願ます

京城株式現物取引物仲買人

㊂高松商會

京城本町二丁目
電話長三〇八五番
電話一〇
電話市場專用二六〇六

大阪株式特電

銘柄	十日前場寄付	九日後場大引
大株	一四〇	一二〇、〇〇
郵船	三八、〇〇	三八、〇〇
同新		五三、五〇
商船		
同新		
鐘紡	二二七、七〇	二三八、八〇
同新	二一五、〇〇	二一七、二〇
東紡	一一四、三〇	一一四、三〇
東糖		
上取	六四、一〇	六四、六〇

銘柄	十日前場大引	十日後場寄付
大株	一一一、〇〇	一一〇、〇〇
郵船	一三八、三〇	一三八、〇〇
同新		
商船		六七、八〇
同新		
鐘紡	二三七、二〇	二三七、二〇
同新	二一五、九〇	二一五、三〇
東紡	一一三、八〇	
東糖		
上取	六三、九〇	六三、八〇

大連株式特電

○九日

	寄付	止め
連取當先	三四、六〇	三四、五〇
東實	三四、九〇	三四、六〇

安東株式特電

○十日

	寄付	大引
安取當先	一六、六〇	一六、六〇
出來高		一六、五〇

米況（强調）

仁川期米

十日前場

阪地の高移りに牽制されて漸次引締りを呈したる場面は昨後場十八圓二十七錢と擔上げ四錢と打止めし折柄各地氣配の減切高に今朝一段の氣勢を高め當中出來ざるも先十八圓五十錢と

二十六丁高

に寄付きたり▲第二前　大阪寄付二十五圓三十六錢と上放れに當用來ざるも中は買方一派の驅引買ひに十八圓九十錢より

九圓丁度と買煽

り正米筋の繋物に八圓九十錢と押し先六十錢に始め更に五錢と躍騰せしが☐の手詰賣りに四十錢と押し西五錢さ利喰いと崩れの大混戰を演じ三錢さ引▲第三節　當用來ざるが大阪跡十九錢の小甘き移り中八十六錢と押し先四十二錢より三十三錢と手詰め急きにト辿りせしも餘りて安値は買直さんとする手口もありて四十一錢と締り三十五錢と頭重く引▲第四節　當用來ざるも中八十七十九錢と弛み先三十三錢に始め二十七錢と下押し買方の防戰に三十錢と小戾せしも軟派の賣直し旺盛に伸び惱み二十八錢と引▲第五節　當中出來ず先二十八錢と引締みたるも戾りは買方の手詰め賣に三錢と押して引▲第六節　當出來ず中六十八錢より賣に五錢と押し先二十二錢に始め

後場反動安

▲第一節　大阪前止め十五圓二十五錢の移りに當中出來ず先三十九錢と寄付し後寄二十八錢の移りに當中出來ざりしが先十八錢と▲第二節　當中出來ず先三十二圓四十錢と▲第三節　當出來ず先十八圓十錢と引公定十錢漸く九錢と返して引公定十錢

二十一丁高

も大阪

三節五圓臺割れ

を早耳に賣物を喚び寄りを高値に〇五錢と追込まれ▲第四節　先十八圓十錢よりの五錢押し六錢引公定〇八錢

	十日前場					十日後場					賣買	現在
	寄付	止值	高值	安值	寄付							
	一節	二節	三節	四節	五節	六節						

當限　一八、二〇　一八、〇〇　一八、〇〇　一八、〇〇　一八、二〇　一八、三〇　一八、二〇　一八、二〇　一八、五〇
中限　一八、九〇　一八、六〇　一八、一〇　一八、三〇　一八、二〇　一八、二〇　一八、二〇
先限　一九、〇〇　一八、九〇　一八、五〇　一八、四〇　一八、三〇　一八、二〇
現在高　取組　二十八萬五千三百石
賣買高　一萬二千九百石　四萬七千五百石

㊖布井仲買店

仁川米豆取引所仲買人
電話　二六四　三三五番

期米雜觀

强氣一派は阪地の高移りを動機に買煽つてマバラの崩れ身を尖散しようとするが軟派は其手を喰はないさいはんばかりに猛烈防戰する其處で骨折師の採合ふ割り伸足が鈍いのである▲十七圓四十錢處を突込んだ運中には昨後場の一戰で一追證さ近頃以つて珍しき相場だが其れも全部でタツタ六千圓足らずだと云へば何にもさうら居てる程の事はあるまい▲四萬五千余石も取組んだ喧嘩が其の位いな追證で無事收まりが付くかドチかは今後の成行きに徵する外ないが▲阪地の形勢や買方の陣容を窺ふに有力者が後援して居る共邪情から速斷するさ島合の勢で頭を抑へ過ぎるの觀ある丈早晚其の咎めは免れないであらう▲況してや安い〳〵と人氣を煽りに促した正米も底値から百丁以上跳返して定期の高くなるのを待つてゐる有樣など滿更仕手關係のみで盛ふて居た相場とも思はれない値頃〳〵で買惹ふて居た人氣が一變して一般

正米出廻激減

茲出盛期に際して獨り當市場のみならず各地を通じて集散地に對する正米の出廻り漸減の模樣にて當市場は特に其の傾向著しく當に於ては正米及籾の時々賣物途切れさなるの觀あるは天候と潮時の加減に依ると雖も全くは內地期正米高と賣物一巡後さて農家の賣惜みによるものにして一般の人氣が前途安な見越し此の年末より荷箭季にかけて出廻增加の一崩れを豫測される向多かりしも昨今の如き事情よりも觀測すれば諸物價さ米價の不均衡にある丈今日以下の安値は農民經濟の許さゞるものあるさ同時に自然賣氣を鈍からしめつゝあれば例年の如き一氣の玄米出時代を見すして此の新穀期を經過するにあらずやさ見做せる向あり

內地正米續騰

內地正米は北國産地高と鮮米反騰の刺戟を受け東京の如き賣物減切り減退せると同時に買氣を促かし連日昂騰步調を續け居りしが今朝

又復七十錢

高を報じ關西方面も之れが牽制を受け

五十錢方の引締め

調の模樣なりと

煎と利喰の混戰

前日迄で防戰に努めし軟派も引續き阪地の高移りに愈々今朝に幾分煎れ氣を催したるものの如く買方の煽揚さ俟つて寄付き五十錢さ上放れ更に六十五錢さ躍騰し場面の急變に買方は素より手詰め賣りを急き四十錢埀に下邊りして煎れさ利喰の大激戰を演じたるが押目は買方一派も防戰的賣直しをなす掛合ひに下げ澁り勝に氣じたる賣方は此機會に於て更に勢力を增さんとする形勢あれば殊に軟派は値頃を以つての對抗なる丈此際何かの軟材現はれさる限り尙段反撥は免れざるべし

京城穀物延取引

玄米　昨前場氣高を含みながらも眼先案じに自重警戒の態度にて連日軟化氣味はざりしも昨今場阪地期米の躍進と內地正米の續騰を入れ且つは鮮內各地も一齊賣物薄と人氣立直り模樣の際とて漸く安心的買氣を催し來れるものゝ如く今朝は依然場面改まりて立會へは買唱多く一月末の十九圓五十錢を手始めに跡六十錢六十五錢と上向き一月中六十錢と付先限の買進りに兩限殆ご無商となり出來高千七百石さ開市以來の好勢を告げ後場氣配一般高を唱へて活況裡に前場を打止め

大豆　値頃下攻への折柄釜山仁川の小反じ人氣と期正米の反騰を受け市況稍々見直し模樣を呈せり當市場は未だ相場引締まりさいふ處迄は行かざるも弗々買氣を催ほし來れるもの如く一面荷主には腰を强め居れば用合ひは依然として少なく今朝は全郊汗浦乘りの四十五錢にて二車の手合せあり多少上値を觀るを得べし

前場商內

一月末渡　玄米二百石　一九六〇
帳入値段　十九圓六十錢
出來高　二百石
一月十五日渡　玄米二百石　一九五五▲六百石　一九六〇
○一月末渡　玄米百石　一九六五
帳入値段　十九圓六十錢
出來高　千五百石

九日後場商內

一月末渡
玄米二百石　一九四〇▲百石　一九五五
▲二百石　一九五〇▲三百石　一九四五
出來高　千石

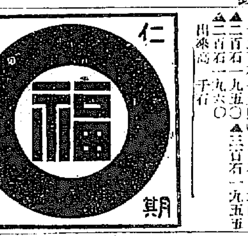
京城正米市場

各地籾の出廻り一巡の折柄內地期正米の連日高が移し茲許賣物急に影を沒し今朝の如き殆ご皆無に等しき狀態にて自然一定の見當建たず標準は三等合格二十圓二十錢地拂上玄十八圓五十錢並十七圓五十錢と持合ひを唱へつゝあるも底意減切强調を帶び來れる際とて事實取引相場さしては多少上値を觀るを得べし

取組高（九日）

	玄米	白米	大豆
十二月中			一八〇石
十二月末	八〇石	一〇〇石	三六〇石
一月中	一〇〇石		
一月末	一、四〇〇石		一八〇石

仁川米期



㊉那須仲買店

仁川米豆取引所仲買人
海岸通三丁目
電話長三三、七六三
電略（〇一）又八（二）

移出白商談進む

內地正米高に連れ茲阪神方面より白米の電照弗々入込み來れるが指値は大阪神著の袋入二十七圓二十錢入六圓五六十錢處にて漸次商談運びつゝあり

袋入二十七圓

鮮白一圓高

鮮白は賣物薄と各地高の刺戟を受け今朝は一躍一圓高を示し上物二十一圓搦みを唱へられたり

仁川正米市場

定期の反騰を受けて更に賣腰强く氣配一二十錢高の三等合格二十圓六十錢地拂十九圓籾上物六十錢處を唱へ居れるも手持筋賣急かさる模樣なり

釜山正米特電

堂島昨後場の變動は各地市場に大影響を及ぼし自然强調となり當地賣物筋の手控の買物所に輸出

一圓方昂騰

を告げ米前寄りの入電遲延の爲め內地期分氣迷さ正米連の見當は結局昨市場の平均より

五六十錢高に止

群山正米特電

十二月末限二十一圓三十錢一月中限二十一圓七十五錢二月中二十二圓丁度（十日）

大豆は玄米の强調と綿相筋の幾分買煽りにて四十錢高の十二圓にて三百十六叺の商談ありたり（十日）

…しも十錢所にて約五千八百叺の商談出來しまり三本神力二十二圓殼良二十二…

東京期米特電

○十日前場

	寄付	止め
二節	二四、五九	二四、四九
三節	二四、四一	二四、四九
四節	二四、五〇	二四、五九

九日後場先限

寄付	二三、八九
二節	二三、九〇
三節	二三、八一
四節	二三、九〇
止め	二三、八〇

大阪期米特電

○十日前場

	當限	中限	先限
寄付	二十四圓九十九錢	二十四圓八十九錢	
止め	二十四圓七十七錢	二十四圓七十四錢	

○十日後場

當限寄付	二十四圓七十錢
中限寄付	二十四圓八十八錢
先限寄付	二十五圓二十八錢
二節	二十五圓〇二錢
三節	二十四圓九十八錢
四節	
五節	
高值	
安值	

下關期米特電

○十日前場

	寄付	止め
當限		
中限		
先限		

○十日後場

	寄付	止め
當限		
中限		
先限		

各地期米特電

○九日後場止め

東京	二四、三〇
兵庫	二四、九八
桑名	二四、五二
熊本	二四、五〇
大阪	二五、〇九
下關	二三、〇〇
名古屋	二三、四一
金澤	二三、六〇

大阪三品特電

○十日前場寄付

	前場寄付	後場大引
十二月限		
一月限		
二月限		
三月限		
四月限		
五月限		

横濱生糸特電

○十日前場

當限寄付　一五一、五〇
先限寄付
出來不申

綿糸新安值

當限の四十圓臺は値頭關係より軟派無謀に突込み賣もならず頃日來より往來相場の裡にも底堅さ成行きを保ちつゝありしが昨朝來形勢再び軟化の傾きとなり今朝は

米棉丹錢

高に

反し銀塊は低落十片の墜落を制して前日に比し一氣

片四分二

三片四分の一方の

市場の氣崩れ

を喚びたるもの如く大阪前場は當限二百卅四圓五十錢先に不勢を辿り結局當限三十二圓八十錢先四十一圓八十錢に大引せり

落を演じた…るより勞ひ…

東京現株特電

銘柄	十日前場	九日後場
鐘紡	三一三、八〇	
同新	三一五	
東拓	四八、五〇	
同新	三、五〇	
滿鐵	一〇二、〇〇	
同新	八、五〇	
殖銀	一三、五〇	
同新	四九、〇〇	
東株	一七四、五〇	
同新	三六、〇〇	
連取	一四、五〇	
滿毛	一二三、〇〇	
朝紡	二二、〇〇	
滿糖	八五、五〇	
日紡		

正十八金　寶石入指輪　大廉賣

▲一個僅か三圓卅錢
▲但し代金引換十錢增
本品は圖に示す如き十八金製にして體裁高雅の寶石入り十八金刻印附にて保險附す

怪しきメッキや張に非ず眞正十八金は勿論萬一金質に間違ひあるは北圓死の罰金を呈す、寶石は赤青の二種あり好の色申越あれば現品御買上後萬一不向の節は即時返金す故に御安心御注文を乞ふ右は某店の整理品にて損失を顧ざる換金策の廉賣故好期逸す可らず至急御申込あれ個數に限りあり

東京市赤坂區新町
振替東京二九五八番
芳玉堂商店

安價提供　ストーブ各種新荷着

京城本町二丁目
金物商　佐野彥藏商店
電話一六三番
振替口座京城一二〇番

最新刊

大正十年　每日年鑑　一、一〇
鮮滿風物記　沼波瓊音　二、五〇
日本譯語法　谷南勝藏　三、〇八
アメリカ生活　川口義久　三、三〇
若き集團　宇下犀生　二、二〇
硫化染料製造法　西田卯太郎　四、〇八
教育上の自由思想　田制佐重　四、九〇
和韓學教授法　田中敬　二、七五
朝鮮遊記　大町桂月　二、五〇

京城本町一丁目
大阪屋號書店
電話…
振替…

中村眼鏡店

京城本町一丁目（郵便局横）
電話二七番
振替京城三四六番

朝鮮文化運動の先驅者　朝鮮警察新聞

▲民衆は本紙を讀むで警察の本領を諒解せよ
▲警察官は須く本紙を讀むで民衆を諒解せよ
▲記事內容警察に關する學說講演警察官の研究資料其他家庭的娛樂慰安の記事極めて豐富
▲發行日及定價　每月一日發行定價一部金廿五錢
▲發行及印刷所、發行所朝鮮警察新聞社印刷所京城日報社
▲民間購讀御希望の方は年額金參圓前納の上朝鮮警察新聞社宛申込まれたし
▲尙本紙は會員組織と購讀者を以て朝鮮警察研究會々員とす

京城府元町四丁目百三十番地
朝鮮警察新聞社
振替口座京城八五六七番

歲末年始　御贈答品

一家の平和を掌る御婦人は又一家の氣韻を保つ爲に常に御座敷に鳩居堂の煉り香を!!

ちとせ　一器壹圓
若松　一貝廿錢
御德用筒入　梅花　貳圓
御德用筒入　梅が香　大壹圓　小五十錢
外各種
內地送料　十二錢
目錄御報次第呈送

京都寺町　振替大阪六三八
熊谷鳩居堂

◎ミツワ雪の雫

肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする芳香健膚藥

定價　金五拾錢
內地以外は關稅運賃を加ふ

主效

皮膚を强健清潔ならしめ、皮膚乾燥、皮膚剝脫、皮膚龜裂、皮膚皸裂、凍傷、火傷、乳嘴の小傷、擦過傷、雀卵斑、脂漏、痤瘡、毛瘡、濕疹、蕁麻疹、粃糠疹、苔癬、白癬に奏效す。

本劑は芳香馥郁たる健膚藥で、日常之を用ふれば肌膚に居る黴菌を殺し其の發育を防へ、隨て腐敗を防ぎ臭氣を消し、肌膚の硬くなつたのを柔かにして、▲肌膚を柔軟にし澤になし、肌膚から出る脂肪を除いて清潔になし、肌膚を緊縮めて皺寄るを防ぎ、肌理を細かにし、肌膚の血行を良くして其の色澤を麗しくし、皮脂や汗の分泌を制限し、肌膚を包み護つて外から來る刺戟を緩げ、▲肌膚の效能を治し、龜裂なきを防ぎ、黴菌や塵物の入込むのを止め、尙肌膚の榮養を旺盛にして、健全な肌膚の新しく出來ることを促すから、前に擧げてある諸種の皮膚病に良く效き、肌膚を麗しく清潔にする。▲又白粉を塗る前に肌膚をミツワ石鹼で洗つてから、之を擦込むやうに塗り、暫く經てから濕水で堅く搾つた手拭で押へるやうに輕く拭取り、それから白粉を塗ることのりものびもよく、生々とした化粧が出來る肌膚になるのである。

現品縮寫圖

芳香馥郁たる肌着香水オー・ド・フラール　◎ミツワ花の雫

定價　大壜　金七拾五錢　小壜　金貳拾錢
內地以外は關稅運賃を加ふ

從來の家庭用香水には徒に强烈なる香を放ち、手巾、衣服等に振掛くれば汚點を殘すもの多きに反し、◎ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき温雅の芳香を有し、毫も汚點を殘す憂なく肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、或は浴湯等に用ふれば、清涼の感を得ること、本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる家庭用肌着香水なり。

現品縮寫圖

毛髮の營養料衛生香水ヘーヤ・ローション　◎ミツワ月の雫

定價　大壜　金七拾五錢　小壜　金貳拾錢
內地以外は關稅運賃を加ふ

優良なる品質を具備し、毛髮の衛生に適するミツワ石鹼を以て毛髮を洗滌せる後此◎ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髮の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、色澤を美ならしめ、脫毛及雲脂の過度を防ぎ、毛髮を良くするに特效ある美髮料なり。故に毛髮の衛生に留意し、美髮を欲するものには實に理想的の營養料頭髮用香水なり。

現品縮寫圖

三十倍の濃厚香水　◎ミツワコンクレー

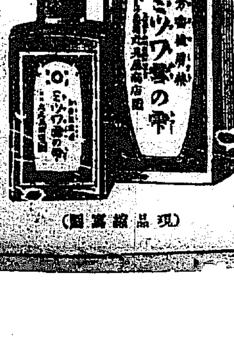
壹滴よく强烈馥郁たる佳香を永く保有せしむる香水の素

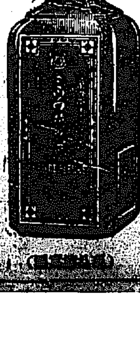
定價　金壹圓五拾錢　送料

ミツワコンクレーは强烈な芳香を有する濃厚香水で、芳香は頗る强烈で永く保ち而も嫌味のないものであります。香料の世界的本場たる佛蘭西に於て非常に賞美されてゐる織縮の香料を基礎として、之にミツワ化學研究所の研鑽にかゝる至純の芳香料を選擇配合したもので、品位ある芳烈の佳香、一滴よく强く長く持久的の香氣は從來の香水とは趣を異にし、殊に其濃度は普通香水の三十倍以上に達してゐますので、從つて香氣の强いこと此上なく、多量に用ふる必要がなく、且つ永く保つ故に經濟的實用品として、十分に賞讚すべき價値があります。

現品縮寫圖

發賣元目錄御申越次第送呈
ミツワ石鹼本舖　東京市日本橋區馬喰町　丸見屋商店





志賀院長東上

總督府醫院長志賀博士は來る十五六日頃東上すべく一月二十日頃…

月井里驛昇格

京元線月井里は從來驛員無配置の簡易驛なりしも今回驛員を配置し來る二十一日より旅客、手小荷物の取扱を開始する由なるが一般公衆の受くる利便少からざるべしと

…七十七番地…より失火あり人家調密の場所柄とて忽ち附近に延燒して飲食店…金…東方二棟…一軒及び金姓女方一軒に類燒せり失火と見るや消…一棟…不始末よりなる…一千五百餘圓（仁川）

曙（あけぼの）

第十六回

徳田秋聲

(挿畫) 近藤紫雲

歸一朝 (5)

絢子は一人になつて、ほつとした。

『そんなに顔色がよくないのかしら?』然う獨り言に言ひながら、私と起つて小さな鏡臺の前に向つて見た。化粧した白い顔がくつきりと鏡面に映つた。心持蒼味をもつてゐるようだがそれは見る人の氣のせゐだらうと、彼の女は然う思つた。『でも久し振りに歸つた良人の眼に、そんなに映つたんなら、矢つ張り色に出てるんだわ』然う思つて、絢子はまた歎息を吐いた。

『夫婦の仲に隠し立てはよくない、一そのこと言つて了はうかしら?』と、彼の女は元の座にかへつて、そんなことを思つて見た。しかし、それは直自分で打消して了つた『外の事とは違うわ。そんなこと言つては、今まで何事もなかつた鏡のような海面に、波を湧き立てるようなもんだから……決して〳〵、これぱつかりは誰にもいひますまい私だけの胸に秘めておけば、それで濟むことなんだから』然う獨言ちたりした。

島家へ嫁して來たことが、今更のように思はれてならない『私はなんだつて、こんな家なんかに嫁いで來たんだらう?私はこんな家へ來るんぢやなかつた筈なのに!』絢子はわれにもなく熱と思ひに沈んだ。

絢子は二十歳の秋までは島の家の嫁になる身とは、夢にも思はなかつたのである。其頃の彼女の心に宿つてゐた未來の良人は今の辰衛ではなかつた。辰衛のような男ではなかつた。結婚の談さへ出なくて濟んで了つた他の青年であつた。絢子の憶ひ出は直ぐ其所へ引戻されるのであつた。

其男は長い間絢子の父の所へ出入をしてゐた白井欽吾と云ふ一人の法學士であつた。今では法曹界に入つてゐて、判事の中でも敏腕家の一人として許されてゐる。以前は政治好きの青年で何彼につけて絢子の父と議論をしたり、世話になつたりしてゐた。十五六までは絢子も何の氣なしに、白井に揶揄つたり、冗談を言はれたりして、色氣なしに馴じんで來たものであつたしかし異性といふものに對して不思議な感情が目覺めて來る頃になると、絢子はどうも白井の口を利いたり、傍へ寄つたりするのが、可羞しくて爲樣がなかつた。それに、其頃には最う白井も昔の角帽姿ではなくて、口髭なども生して一角の人間になつてゐたのである。

絢子はしかし、父も母も、同鄉の白井を畏敬してゐた事を知つてゐた。さうして白井さへ承諾すれば、親達は自分と彼とを結婚させる筈だとばかり考へてゐた。母親の口から、その希望が時に漏れた事もあつたやうにさへ絢子は思つてゐたのである。ところが時經つて、そんな談が具體的の問題となつて現はれもしないうちに、早くも此島家との緣談が持上がつて來たのである。

島家と實家とが、どんな關係にあるかは、絢子は少しも知らなかつた。しかし、何か金錢上の事で文平の間に交渉のあつたことは、其緣談が初まつた時に母から打明けられて、初めて知れたのだつた。無論、政治界の宿老として可也の地位を保つてゐた父と、財界で相當に幅の利く文平とは、何かお互に利權の交換上でそんな關係を結んだのではあつたが、其後父の苦しい財政に、一二度の補助を與へた擧句に、文平に對しては父はある意味から云つて、金錢上の恩惠を受けてゐることになるのであつた。そして、其中には文平に判を貰つて成立つた連帶關係の負債なども一口はあつた。

絢子は、其談を母から聞かされた時に、餘り好い氣持はしなかつた。單に金錢上萬能主義の島家の家庭の空氣が厭はしく思つたばかりでなく、金錢上の恩惠を受けてゐるような家へ嫁ぐとは、此上もなく氣窮りで氣乗でもあつた。父母も氣は進まなかつたのである。しかし、其問題を引離して、單に本人の絢子が欲しいと云ふ島家の懇望に、それでもとは云へないで、到頭彼女は辰衛と結婚することになつたのであつた。

名花の雲 トキワ諸製 發賣元 明治屋

五の日十日會句

○ 二郎
臘深々惣店二三夜の主である

○ 秋風嶺
惣ほの〳〵と我手くれるかな
あした冬樹の張り切る吹かず

○ 麥哉
おろかしき者炭手掴み來る背偶
汀の氷に日があたり海鳴らすなりぬ

○ 讃岳
硝子戸の鳴る風の夜で足袋を繕ふ妻を憐む

○ 色丘
林檎の枝にかたまつた雀の初霜

○ 角子
日本人の誇りがある上陸の冬

○ 眞敬
島屋のお神さんが鴨の血が手をふきて

川柳 劍花坊選

(十一月三十日旬集中より 浮羽樓課)

樹の肌が冬晴れつゞく　披柳
水べり冬の弱いからだを持ちあぐれ
餘々可愛い男を持ち十二月のいそしみ
ストーブを眞赤にして眞顔で取圍んでる
朝子の足袋の滿足にあることなき　島堂
時雨の白い額のお倍のあいさつ
勁醯の幸福が此庭の時雨に落ちるのだ　不考郎
炬燵に來た夕刊の標題に目抜く
焚火の背中のあたゝかさに立てゝ山々　浮碧樓
十二月の朝の一番電車の過ぎた風だ
健かな私が冬夜の病室のペチカの喫ひを喫ふ

女

夜の明けぬ國で女と朝寐なり　明治町 一柳
朝鮮に一足飛の女權論　黄海道 凡農
女房に云はれはと外は惡魔なり　京城 笠坊

○江華 不二郎
雷鳥は若い鳩は年をとり
○京城 十司男
もの・けいふに後妻はなやまされ
○全州 六劍
湯上りを見つめて妻に叱られる

新刊紹介

▲金扇(前編)(渡邊霞亭氏著) 曾て某誌に連載して頗くが如き好評を博した長編小説である、不自然な戀の悲劇、愛と戀の爭闘、麻の如く亂れ入る事件を描くに著者特有の筆を間然とした妙筆を以し何れもの人物を遺憾なく活躍せしめてゐる、子を持つ親の爲にも將來ある青年少女の爲にも好個の敎訓、又なく面白い讀物である(二圓五十錢東京芝公園玄文社)

▲欲生(山本有三氏著) 女親、嬰兒殺し、津村教授の三篇を收む、女親は本年八月作の三幕物、嬰兒殺しは昨年七月作の社會劇、津村教授は本年九月改訂した三幕の脚本である、著者の文名已に定評あり、讀後必ず深刻なる或物を胸裏に刻み込まれずば止まない(一圓六十錢東京牛込區神樂町叢文閣)

▲自由日記(大正十年)(杉村楚太郎氏立案) 日々の事柄を記するに當りして解放的ならんことを期して作られたる他に類のない日誌であり收められた紙はたゞの一頁でも役立たしめるやうに心を配つてある、中途半端な便覽様のものは全然省いてある、眞に自由自在に用を便ずることが出來る流石に楚人冠だけに作いものを案出した(一圓三十錢東京日本橋區本石町至誠堂書店)

▲電氣と文藝(十二月) 單に電氣と文藝といふものを融合した新境地を作らうとの單なる希望でなく科學と藝術といふ二大界を融合し兩者の如何に確實に力強いものであるかを知らしめたいからである、内容亦推して知るべきであらう(八十錢東京京橋區木挽町電氣文藝社)

▲朝鮮工業問題(續) 曾て東亞經濟時報に掲げたもの、第三編として朝鮮工業の原料問題を載せてある(京城大和町東亞經濟會)

▲朝鮮公論(十二月) 西には協商と論東には聯盟矛盾せる過激主義、朝鮮人騷擾側面觀、其他說苑、地方紹介、創作等有益多趣味の記事滿載(五十錢京城太平通其社)

▲新公論(十二月) 我邦政治的勢力の變遷、東京市内宅地外土地の研究、我がトルストイ研究其他(五十錢東京芝區烏森其社)

▲飛行(十二月) 三十五錢東京麴町區有樂町帝國飛行協會雜誌發行所

▲俳句と添削(十二月) 四十錢東京府大森不入斗其社

▲謡樂新潮(十二月) 三十三錢東京下谷區仲御徒町其社

▲書畫骨董雜誌(十二月) 三十五錢東京麻布區飯倉町其社

視る聴る

▲私は去る日公會堂に於て野口師の御講演を拜聽する事の出來た一人ですが、私は其際悲しい程痛切に感じたのは日本紳士の禮儀作法を全く知らないと云ふことです、人の講演を聞く時に帽子を被つて尚又は外套を着たまゝ、それが大道なら先づ許いとして彼の大會堂に於てしかも平氣で聞いてゐると言ふ事を見た私は實に遺憾に堪へませんでした、一事が萬事凡べて此の様な調子の紳士(中には良い人もあります)が中等社會を造つてゐる日本の前途は實に憂ふべきことだと私は深々感じて涙を流したのであります(憂國生)▲週刊晋社川柳大會の折會へ來ずに投稿された方々に申上ます、發表は京城黄金町の京城新聞紙上本月よりのにしてあります、から何卒御覽下さい(京城花園町新田方東雲吟社)▲仁川花房町松坂町か雜貨せる下大道は此の兩三年來砂粉の探め歩行さへ困難で、道路を改修するか或は荷馬車を通行させぬ様此筋の御用紙なを乞ふ(衛生家)

演藝案内

大正館 黄金町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
當る十二月十日より公開大寫眞
◎實寫 大理石切出の實況
◎喜劇 モリツツの寫眞師
□新派悲劇『乳屋の娘』全六卷 山本、東、藤野、夜笠一派總出演
都新聞所載迎塚崖水先生の原作にて彼の『乳屋の娘』は本映畫に依つて如何に不思議の運命を辿る
米國プレイヤース會社傑作
□人情活劇 奮闘の好機 全五卷
說明者 竹本國夫 石原榮外 宮島保 兒島星月
日活會社京都派第二部長 市川姉蔵一派京都四回封切
□源平盛衰記 惡七兵衛景清 全七卷
豪勇怪力鬼神の如き熱朝討取りの壯烈悲し血涙に袖を絞る阿古屋の琴責め は近來の大悲劇
毎月一日、十五日、日曜祭日晝夜開館
△入場料 特に普通

壽館 本町一丁目 電話七八五
歸心派 薩摩琵琶演奏大會
十二月十一日午後六時

黄金館 黄金町 電話一六三七
當る十二月九日より上場
△喜劇 ビリーの逃走
△舊劇 眞田漫遊記 全五卷
グラフ井ツク映畫 イワンアブラムソン氏監督
△歡樂の影 全七卷
リチヤード氏は加州第一の富豪であつたが、新聞記者の女ホープの爲めに財産を蕩盡した、姉のビアトリスは道樂な父と精神錯亂の兄を救はんとして遂に女優となる
△新派 湖畔の小鳥 全五卷
國活會社特作品

喜樂館 本町一丁目 電話五九七番 有樂館改
當る拾日より提供二大映畫
新派 火中の美人 全五卷
虎の足跡 全三十一卷ノ内
豪勇無双 戸田新八郎 全七卷

浪花館 明治町 電話一六〇番
當る十二月十日より開演
▲忘年演藝會
奇術、手踊、一落語、笑劇、輕業、輕口、落語掛合、舞踊

浪花座 本町五丁目 電話二參八番
當ル十二月二日四の替り狂題
前狂言 欲討與曾我 大磯廓之場
中狂言 赤穗義士傳赤垣源藏
切狂言 山崎與次兵衛

往診 自午前八時 至午後十二時 花柳病は特に夜間診察
宅診 (午後一時以後)
仁川仲町一丁目(仁川俱樂部隣)
入院隨意 電話六一六番
壬生醫院
路疾、血液、痰尿其他細菌的檢查診斷の需に應ず

健胃固腸丸

腸胃を健全にし
下痢、腹痛、吐瀉、腸胃加答兒等を速に治す
常に服用すれば恐るべき虎疫、赤痢等を豫防し、食物の消化を能くす
家庭にも旅行にも必ず御用意
藥價 二十錢 三十錢 五十錢 一圓 二圓 三圓 五圓 十圓
本舖 大阪 東京 谷回春堂
各地藥店に販賣す 商標と名義に御注意
◎小兒には專門の小兒固腸丸あり

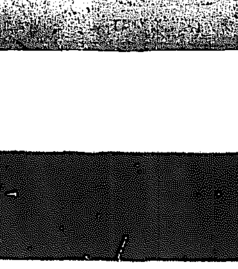
イクダ小兒内科病院 池田雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(病)二三四番 (自宅)三〇〇〇番

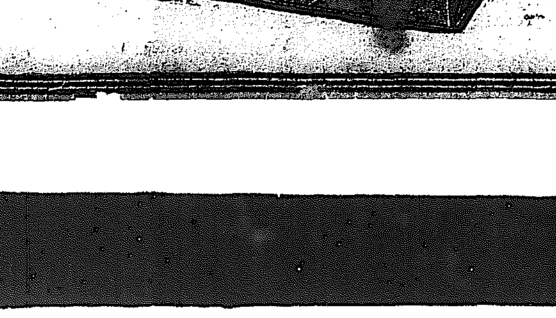
資本金六百五拾萬圓
積立金操越金百四拾六萬圓
株式會社 十八銀行京城支店
京城府黄金町二丁目 電話四三〇番 五八〇
振替貯金口座 京城八一四番
同 新龍山支店
京城府漢江通り拾參 電話五五〇番 振替口座京城一八二三番
同 龍山出張所
京城府元町二丁目 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ事務代理取扱申候

開業廣告
今般左記ノ處ニ精米工場新設仕リ各種玄米磨擦石粃精白米調製販賣並ニ大豆雜穀類委托賣買業開始仕リ專ラ誠實且迅速ニ精々貴需ニ可應申候ニ付何卒多少ニ不拘御愛顧御用命ノ程奉希上候 敬具
大正九年拾二月七日
磨擦石粃精白米
各種精撰玄米
大豆雜穀委托賣買
平壤府壽町十二番地
品川精米所 電話長八一六番 電略(シ)又ハ(シナ)
本店 釜山府南濱町
品川德藏本店 電話長二七番 電略(シ)又ハ(シナ)

最モ安全ナル小兒解熱藥
小兒アル家庭の必備藥

内科 小兒科 入院 隨意 ヂアテルミー科
京城府明治町二丁目(本町戸川より入る横町) 電話二七八番
中島病院 院主 中島
(醫學博士)

宮内省御用達

ヒゲタ醬油
千葉縣銚子港 銚子醬油株式會社釀造
代理店 京城明治町二丁目 山邑酒造株式會社京城支店
電話長八四九番・二四四番 振替貯金口座京城七五一番


美くしくて
實用で……
便利で……
實際頃合な
レート進物函
お贈呈物には實際心配させられます
その時
贈るのに便利で貰つて喜ばれるのはレート化粧料を程よく組合せて美しい桐箱に入れたレート進物函で厶います。
◆種類は▼壹圓▼貳圓▼參圓五拾錢▼五圓▼拾圓▼参圓
いづれも化粧品店・百貨店にも賣つて居ります。
本舖 東京 大阪 平尾贊平商店